I-O DATA

IEEE 1394 接続
ｺﾝﾊﾟｸﾄﾌﾗｯｼｭ・ｽﾏｰﾄﾒﾃﾞｨｱ ﾘｰﾀﾞﾗｲﾀ
1394-DFRW
取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

81295-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
14) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- Apple,Macintosh,Power Macintosh,iMac,MacOS は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- SmartMedia は、株式会社東芝の商標です。
- Compact Flash™ は SanDisk Corp の登録商品です。
- Ulead PhotoExplorer はユーリードシステムズ社の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

1394-DFRW 取扱説明書
2000.0ct.30 81925-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

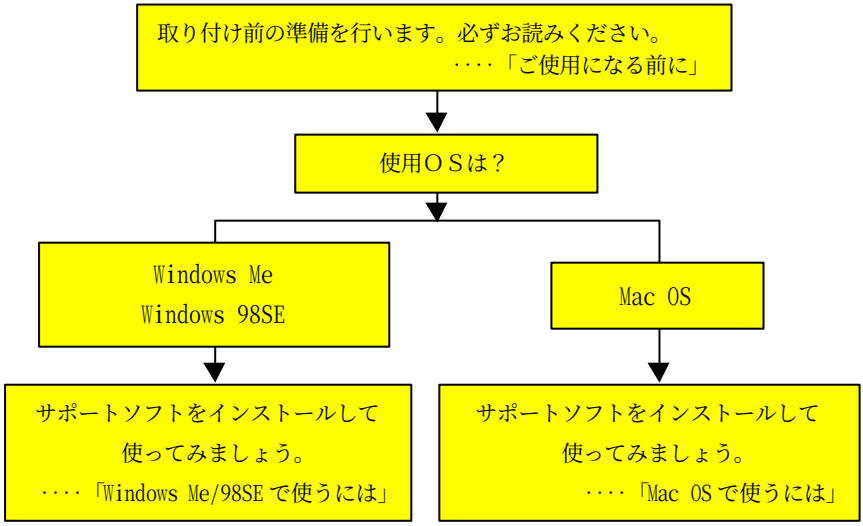
© 2000 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

はじめに

このたびは、IEEE 1394 接続のコンパクトフラッシュ・スマートメディア リーダライタ「1394-DFRW」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

本書の見方

以下のフローに沿って、必要な箇所をお読みください。



本書での呼び方

呼び方	意　味
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition
Windows 98SE	Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Edition
Windows	Windows 98SE および Windows Me の総称

もくじ

はじめに ····· i
もくじ ····· ii
本製品のご紹介 ····· v

1 ご使用になる前に

必ずお読みください

箱を開けたら ····· 2
対応している機種とＯＳ ····· 4
注意していただきたいこと ····· 8
各部の名称 ····· 10

2 Windows Me/98SE で使うには

インストール編

サポートソフトのインストール ····· 15
パソコンと接続する ····· 17
インストール終了後の確認 ····· 21
インストールした情報を削除するには ····· 24

使用編

基本的な使い方 …… 26
デジタルカメラの画像を取り込むには …… 33
ディスクドライブとして使用するには …… 40
フォーマットするには …… 42

3 Mac OS で使うには

インストール編

インストールする前に …… 47
サポートソフトのインストール …… 50
パソコンと接続する …… 52
インストールした情報を削除するには …… 57

使用編

基本的な使い方 …… 59
デジタルカメラの画像を取り込むには …… 65
ディスクドライブとして使用するには …… 66
フォーマットするには …… 68

4 付　録

困ったときには＜目次＞ …… 72
困ったときには …… 74
ハードウェア仕様 …… 84
用語解説 …… 85

サポートセンターへのお問い合わせ……86
サポートソフトのバージョンアップ……87
保証について……88
修理について……89

本製品のご紹介

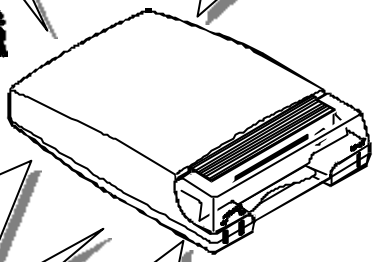
IEEE 1394接続だから高速かつ簡単接続

IEEE 1394 対応なので、メディアへのアクセスは高速です。パソコンを起動したまま抜き差しができる HotPlug 対応です。
不要なときにはケーブルを抜いておくこともでき、ケーブルを差しこむだけで再接続できます。

小型・軽量 外部電源不要

小型・軽量で、設置場所を取りません。パソコン側が 6 ピンタイプのときは外部電源が不要なので電源コードの配線やコンセントが不要です。

※4 ピンタイプ接続時や 3.6W バスパワーが供給できないときは別途 AC アダプタが必要です。



コンパクトフラッシュとスマートメディアの2ドライブ搭載

現在、デジタルカメラの主流となっているメディア形式は２つあります。本製品では両方に対応するため、２ドライブを搭載しました。
これなら、デジタルカメラを買い換えたときに困ることもありません。

Windows Me/98SE およびMacOS対応

Windows Me、Windows 98SE と MacOS（8.5.1 以降）に対応。

画像管理ソフトを添付 (Windows 版のみ)

Ulead 社「PhotoExplorer 5.0 SE J」を添付。増え続ける画像データを、多彩な機能と簡単な操作で管理できます。

MEMO

1 ご使用になる前に

この章では、本製品をご使用になる上で必要となる事項を説明しますので、最初に必ずお読みください。

P2　箱を開けたら

箱の中に入っているものを確認してください。また、ユーザー登録の方法も説明しています。お使いになられるときは、必ず、ユーザー登録をお願いします。

P4　対応している機種とOS

対応機種や対応OSについて説明します。お取り付けになる前に、ご使用のパソコンがこれらの条件を満たしているか、確認してください。

P8　注意していただきたいこと

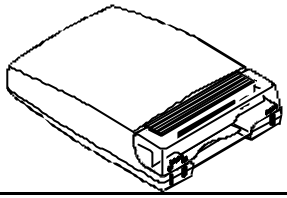
取り付け時や使用時の注意点を説明しています。必ずお読みになり、安全で快適にご使用ください。

P10　各部の名称

ご使用になる前に、ランプやコネクタの位置を確認してください。

箱を開けたら

中身を確認してください

内容物	詳細	個数
リーダライタ		1台
接続ケーブル	IEEE 1394 ケーブル （6 ピン⇔6 ピンタイプ　約 100cm）	1本
ゴム足	設置用	4個
サポートソフト	1394-DFRW サポートソフト CD-ROM ディスク この CD-ROM には以下のものが含まれます。 ● 1394-DFRW ドライバ ● Ulead PhotoExplorer 5.0 SE J（Windows 版）、および、そのオンラインマニュアル	1枚
その他	取扱説明書（本書）	1冊
	ハードウェア保証書	1枚
	ユーザー登録カード（弊社用）	1枚
	ユーザー登録カード （ユーリードシステムズ社用）	1枚
	ハードウェアシリアル No.シール	1枚
	安全で快適にお使いいただくために	1冊

万が一、不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

注意！

箱･梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。

ユーザー登録を行ってください

お買い上げいただいた製品ごとに以下の手順で必ず登録してください。

1 添付のハードウェアシリアルNo.シールを貼ってください。

ユーザー登録カード、ハードウェア保証書に貼ってください。

2 ●オンライン登録する場合

(ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ http://www.iodata.co.jp/regist)

インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録を行ってください。

I-O DATA ホームページ上からオンライン・ユーザー登録が行えます。、画面の表示にしたがって必要事項を入力して、ユーザー登録を行ってください。

※ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

●ハガキで登録する場合

必要事項をご記入の上、弊社まで必ずご返送ください。

注意！

1．ユーザー登録の際、必要事項のご記入もれ（ユーザー登録カードの場合、必要なシールの貼り忘れ等）があった場合は、ユーザー登録できませんので、必ずご確認ください。

2．本製品に添付されている『Ulead PhotoExplorer 5.0 SE J」のユーザーサポートは、弊社ではなく、ユーリードシステムズ社が行います。このソフトをお使いになるときは、弊社へのユーザー登録とは別に、ユーリードシステムズ社へのユーザー登録が必要です。本製品同梱のユーザー登録カードに必要事項を記入し、郵送してください。
なお、ユーリードシステムズ社へのお問い合わせ窓口は、37 ページ「PhotoExplorer に関するお問い合わせ」を参照してください。

対応している機種とＯＳ

本製品を使用できるパソコンおよび環境は以下の通りです。ご使用の機種や環境を再度ご確認ください。

■Windows 搭載マシン■

対応機種	IEEE 1394 インターフェイスが搭載されている、以下の機種 （弊社製インターフェイスボード「1394-PCI シリーズ」 および「CB1394 シリーズ」含む） ● NEC PC98-NX シリーズ(CEREB-NX を除く) ● DOS/V マシン （SHARP Mebius Style PC-PN10/15/15Z を除く） （弊社では、OADG 加盟メーカーの DOS/V マシンで動作確認を行っています。）
対応 OS （日本語版）	● Windows Me ● Windows 98SE （6 ページ「Windows 98 のバージョン確認方法」参照）
CPU	Pentium 100MHz 以上
CD-ROM	インストール時に必要
IEEE 1394 ポート	本製品接続時に１つ必要 （次ページ【注意】および 6 ページ「スマートメディア書き込みに対する制限事項」を参照してください。）

■Mac OS 搭載マシン■

対応機種	Apple Power Mac G4 Cube、G3/G4 iMac DV、iBook、PowerBook G3
対応 OS	Mac OS 8.5.1、8.6、9（FireWire 2.0 以降）
CPU	PowerPC G3、PowerPC G4 以上
CD-ROM	インストール時に必要
FireWire ポート	本製品接続時に１つ必要 （次ページ【注意】を参照してください。）

注意！

本製品に添付されているIEEE 1394 ケーブルは、両端が6 ピンタイプのものです。
IEEE 1394 ポートには4ピンタイプと6ピンタイプがありますので、パソコン側のポートを確認してください。

●パソコン側のポートが4 ピンタイプの場合
市販の6ピン⇔4ピンタイプの接続ケーブル、および、本製品専用のAC アダプタが別途必要です。

●パソコン側のポートが6ピンタイプの場合
本製品添付の接続ケーブルが使用できますが、3.6W 以上のバスパワーが供給できない場合は、本製品専用のAC アダプタが別途必要です。

専用AC アダプタのお求めについては、7 ページ「別売のAC アダプタについて」を参照してください。

■対応メディア■

スマートメディア	3.3V：4/8/16/32MB メディア ID 付 3.3V：16/32/64/128MB メディア
コンパクトフラッシュ	3.3V で動作可能な、CFA 準拠のメディア
マイクロドライブ	IBM 社製のもの

注意！

1. **128MB を超えるスマートメディアについては、SSFDC フォーラムの規格に準拠したものをサポートします。**
2. **ID 付スマートメディアをご使用の場合、ID 機能はサポートしておりません。**
3. **5V品のメディアには対応しておりません。**

■スマートメディア書き込みに対する制限事項■

Windows Me/98SE で下記のインターフェイスボードをご使用の場合、スマートメディアに対して書き込みを行うことができず、読み込み専用となります。

NEC 社製	CEREB-NX（標準実装 I/F NEC IEEE 1394 Interface Board）
SHARP 社製	Mebius Style PC-PN10/15/15Z
RATOC 社製	REX-PCIFW1（Windows 98SE 対応表記のないもの） REX-CBFW1（Windows 98SE 対応表記のないもの）
Adaptec 社製	AHA8920、AHA8940
弊社製	1394-PCI （再設定を行うと書き込みできるようになります。78 ページの手順を参照して再設定を行ってください。）

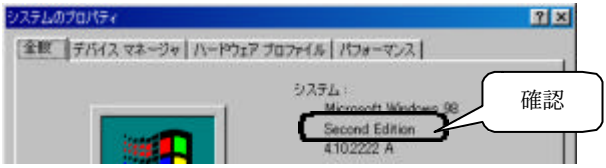
■Windows 98 のバージョン確認方法■

本製品を Windows 98 で使用する場合は、Windows 98 Second Edition が必要です。下記の方法でご使用のバージョンを確認してください。なお、Second Edition へのバージョンアップについては、Microsoft 社へお問い合わせください。

1 [マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]を選びます。

2 [Second Edition]と表示されていれば、本製品をご使用いただけます。

表示されていない場合はアップグレードが必要です。



■別売のAC アダプタについて■

本製品にACアダプタを接続する場合は、必ず、別売のACアダプタ（USB-DAB）をお買い求めください。

なお、ACアダプタに同梱されている「ドッキング用ケーブル」は、本製品接続時には使用いたしません。

注意していただきたいこと

本製品は非常に精密にできておりますので、お取り扱いに際しては、本製品に同梱されている小冊子「安全で快適にお使いいただくために」を必ずお読みください。ここでは、その小冊子の記載以外の注意点について説明します。

⚠ 注意

本製品の接続中は、以下の注意事項を守らないと使用者が**けが**をしたり**物的損害**を受けることがあります。

- **ACCESS ランプの点灯中は絶対にカバーを開けない。**

  本製品はカバーを開けると自動的に電源が切れるようになっています。アクセス中にカバーを開けると、メディアに記録されている内容が消えたり、メディア自体が損傷する原因となります。

- **ACCESS ランプの点灯中は絶対に接続ケーブルを抜かない。**

  本製品が故障したり、カードに記録されている内容が消えたり、カードが損傷する原因となります。

- **本製品は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく製品です。**

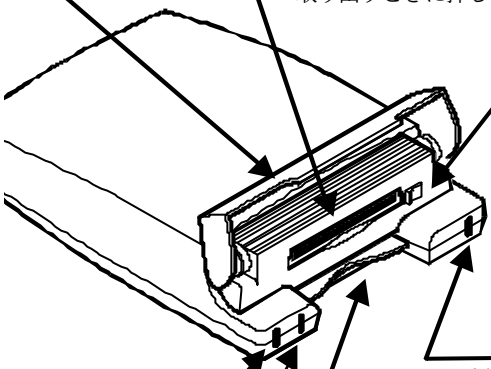
  この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

その他の留意事項

- **ご使用のインターフェイスボードによってはスマートメディアに書き込みができず、読み込み専用となる場合があります。**
  スマートメディアの書き込みに対応していないボードについては 6 ページ「スマートメディア書き込みに対する制限事項」を参照してください。
- **本製品に添付されている接続ケーブルは両端とも 6 ピン用です。**
  パソコン側の IEEE 1394 ポートが 4 ピンタイプの場合は、市販の 6 ピン⇔4 ピンタイプの接続ケーブルおよび AC アダプタが別途必要です。
  AC アダプタのお求めについては、7 ページ「別売の AC アダプタについて」を参照してください。
- **パソコン側の IEEE 1394 ポートが 6 ピンタイプでも、3.6W 以上のバスパワーが供給できない場合は、**AC アダプタが別途必要です。AC アダプタのお求めについては、7 ページ「別売の AC アダプタについて」を参照してください。
- **本製品は Windows Me/98SE のスタンバイおよび休止機能には対応しておりません。**
  スタンバイおよび休止機能については 27 ページ「スタンバイ機能の確認」を参照してください。
- デフラグ、スピードディスクなどのディスク最適化ツールはなるべく使わないでください。メディアの書き込み可能回数が著しく低下します。
- メディア内のデータは万一に備えて定期的にバックアップを取ることをおすすめします。

各部の名称

■前面■（カバーを開けた状態）



■コンパクトフラッシュ のスロット

コンパクトフラッシュを挿入します。

■コンパクトフラッシュ用 イジェクトボタン

コンパクトフラッシュを取り出すときに押します。

■カバー

メディアを出し入れするときに開けます。
本製品はカバーを開けると自動的に電源が切れるようになっていますので、ACCESS ランプ点灯中は絶対にカバーを開けないでください。

■READY ランプ

メディアを挿入すると緑色に点灯します。メディアに異常があれば点滅します。

■ACCESS ランプ (コンパクトフラッシュ用)

コンパクトフラッシュ（マイクロドライブ）にアクセス中は、赤色に点灯します。

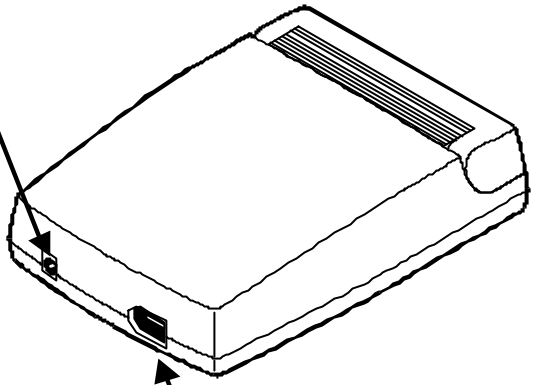
■スマートメディアのスロット

スマートメディアを挿入します。

■ACCESS ランプ (スマートメディア用)

スマートメディアにアクセス中は、赤色に点灯します。

■背面■



■DC IN コネクタ

パソコン側の IEEE 1394 コネクタが４ピンのときや、3.6W 以上のバスパワーが供給できないときは、別売の AC アダプタケーブルを差し込みます。AC アダプタについては、7 ページ「別売の AC アダプタについて」を参照してください。

■IEEE 1394 ポート

IEEE 1394 の接続ケーブルを差し込みます。(6 ピン用)

■ご使用になる前に■

本製品に添付されているゴム足（４個）のシールをはがし、本製品底面の丸い穴に合わせて貼ってください。

MEMO

2 Windows Me/98SE で使うには

この章では、本製品を Windows Millennium Edition（以降、Windows Me と呼びます）および Windows 98 Second Edition（以降、Windows 98SE と呼びます）で使用する場合のインストールから使用方法までを説明します。

インストール編（必須）

本製品を Windows Me/98SE で使用するときは、必ず行ってください。

P15　サポートソフトのインストール

サポートソフトのインストールを説明します。

P17　パソコンと接続する

本製品をパソコンと接続する方法を説明します。

P21　インストール終了後の確認

正しくインストールできたかどうかの確認を行います。

P24　インストールした情報を削除するには

サポートソフトの削除（アンインストール）方法を説明します。

メディアの出し入れ方法や注意事項、添付ソフトを使ってデジタルカメラで撮影した画像を取り込む方法など、1394-DFRW を活用する方法を説明します。

P26　基本的な使い方

メディアの出し入れや 1394-DFRW の取り外し、注意事項などを説明します。
必ずお読みください。

P33　デジタルカメラの画像を取り込むには

添付ソフト「Ulead PhotoExplorer 5.0 SE J」を使って、デジタルカメラで撮影した画像をパソコンに取り込む方法を説明します。

P40　ディスクドライブとして使用するには

本製品はリムーバブルディスクドライブとして使用することができます。その場合の使い方を説明します。

P42　フォーマットするには

通常、メディア購入時はフォーマットされた状態なので、そのまま使えます。
ただし、特にフォーマットが必要な場合、この項を参照してフォーマットを行ってください。

《インストール編》
サポートソフトのインストール

インストールは本製品を接続する前に行います。

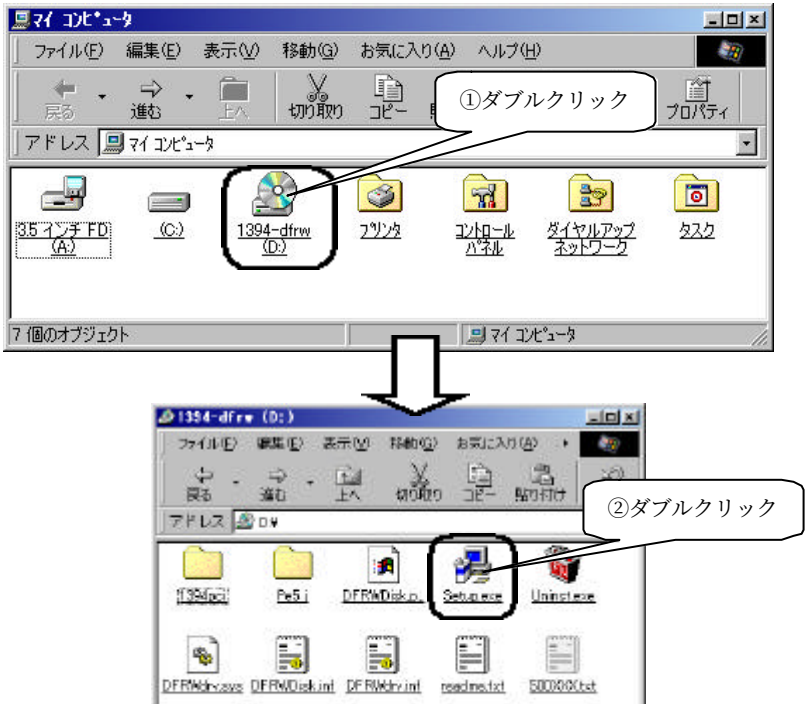
ここではまだ本製品をパソコンに接続しないでください。

1

「1394-DFRW サポートソフト」ディスクを CD-ROM ドライブにセットします。

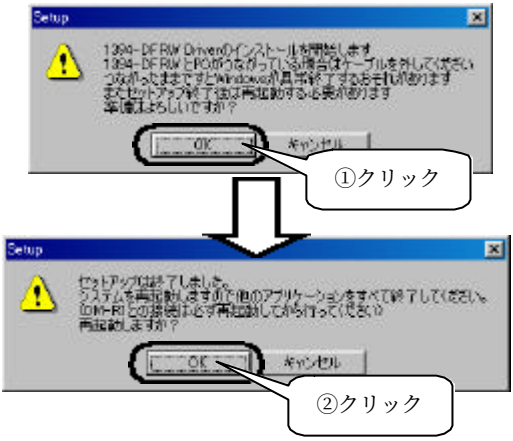
2

マイコンピュータなどで、CD-ROM ドライブの[Setup.exe]を起動します。



（CD-ROM ドライブが D ドライブの場合の例）

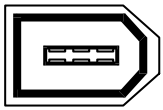
3 画面の指示にしたがって、処理を進めます。
再起動を促す画面が表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



パソコンが再起動したら、インストール終了です。
次は本製品をパソコンに接続します。次ページへお進みください。

《インストール編》
パソコンと接続する

IEEE 1394 ポートには、4 ピンタイプと 6 ピンタイプがあります。
接続の前にパソコン側の IEEE 1394 ポートがどちらのタイプかを確認してください。



6 ピンタイプのポート

4 ピンタイプのポート

- パソコン側の IEEE 1394 ポートが 6 ピンの場合
  本製品添付の接続ケーブルが使用できます。次ページ「パソコン側のポートが 6 ピンの場合」を参照して接続してください。
  ただし、3.6W 以上のバスパワーが供給できないときは、AC アダプタを別途お買い求めの上、接続してください。

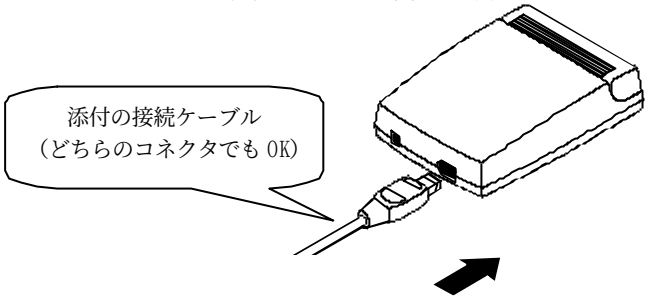
- パソコン側の IEEE 1394 ポートが 4 ピンの場合
  市販の 6 ピン⇔4 ピン接続ケーブル、および AC アダプタを別途お買い求めください。
  ご用意できましたら、19 ページ「パソコン側のポートが 4 ピンの場合」を参照して、接続してください。

AC アダプタについては、7 ページ「別売の AC アダプタについて」を参照してください。

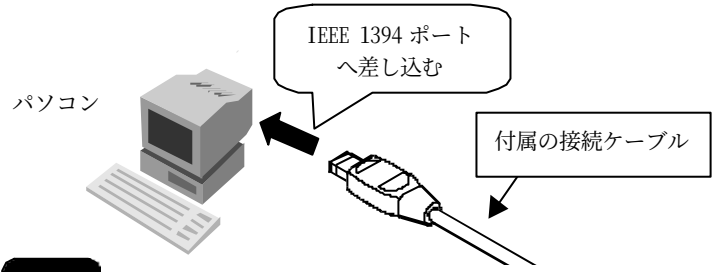
パソコン側のポートが6 ピンの場合

1 本製品背面の IEEE 1394 ポートに接続ケーブルを差し込みます。

IEEE 1394 コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。



2 パソコン側の IEEE 1394 ポートに、接続ケーブルの IEEE 1394 コネクタを差し込みます。



注意！

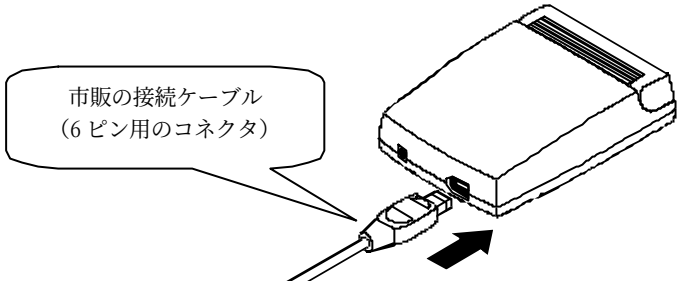
1. **パソコン側のIEEE 1394 ポートが複数ある場合は、どのポートに接続してもかまいません。なお、パソコン側のIEEE 1394 ポートの位置は、お使いの機器の取扱説明書をご参照ください。**
2. **3.6W 以上のバスパワーが供給できない場合は、次ページの手順2 を参照して、別売のA C アダプタを接続してください。**

パソコンに接続できたら、次は、本製品がパソコンに正しく認識されたかどうかを確認します。21 ページ「インストール終了後の確認」へ進んでください。

パソコン側のポートが4 ピンの場合

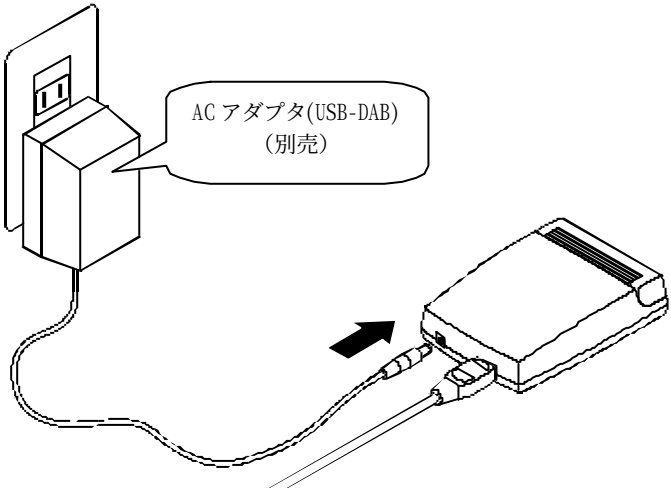
1 本製品背面の IEEE 1394 ポートに、市販の接続ケーブルの 6 ピンコネクタを差し込みます。

IEEE 1394 コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。



2 本製品背面の DC IN コネクタに、AC アダプタケーブルのジャックを差し込み、AC アダプタを電源コンセントに差し込みます。

AC アダプタについては 7 ページ「別売の AC アダプタについて」を参照してください。



3 パソコン側の IEEE 1394 ポートに、接続ケーブルの 4 ピンコネクタを差し込みます。

IEEE 1394 コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

注意！

1. **パソコン側の IEEE 1394 ポートの位置は、お使いの機器の取扱説明書をご参照ください。**
2. **パソコン側の IEEE 1394 ポートが複数ある場合は、どのポートに接続してもかまいません。**

パソコンに接続できたら、次は、本製品がパソコンに正しく認識されたかどうかを確認します。21 ページ「インストール終了後の確認」へ進んでください。

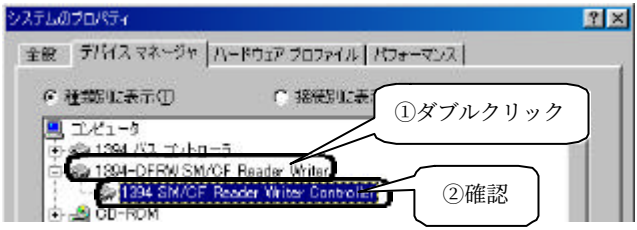
《インストール編》
インストール終了後の確認

インストール後に本製品を初めてパソコンに接続すると、情報データベース更新の画面が表示され、自動的にドライバがインストールされます。その画面が消えたら、パソコンが 1394-DFRW を正しく認識したかどうかの確認を行います。

1 [マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]を選びます。

2 [デバイスマネージャ]タブをクリックし、[種類別に表示]をクリックします。

3 [1394-DFRW SM/CF Reader Writer]が表示されていたら、ダブルクリックして[1394 SM/CF Reader Writer Controller]が表示されることを確認します。



「1394-DFRW SM/CF Reader Writer」または
「1394 SM/CF Reader Writer Controller」
が表示されていない、または、先頭に
「！」や「×」マークが付いている場合は…

「困ったときには」
74 ページ
をご参照ください。

注意！

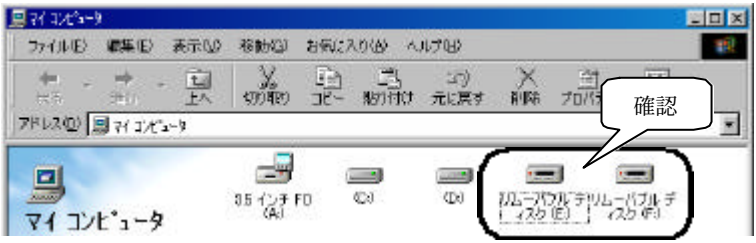
1394-DFRW のACCESS ランプが点灯している時は、[デバイスマネージャ] の[更新] ボタンをクリックしないでください。

4 [OK]ボタンをクリックして、[システムのプロパティ]画面を閉じます。

5 [マイコンピュータ]をダブルクリックします。

6 [リムーバブルディスク]が2つ追加されていることを確認します。

割り当てられるドライブ名はお使いの環境によって異なります。
新しく追加されたドライブのうち、アルファベットが若い方がスマートメディアのドライブ（下記例では E ドライブ）で、もう一方がコンパクトフラッシュのドライブ（下記例では F ドライブ）です。



1394-DFRW が E,F ドライブに割り当てられた場合の例

リムーバブルディスクが
表示されない場合は…

「困ったときには」
75 ページ
をご参照ください。

どのリムーバブルディスクが
1394-DFRW なのかが判別できない場合は…

「困ったときには」
76 ページ
をご参照ください。

これで、1394-DFRW がパソコンに正しく認識され、リムーバブルディスクとして使用できることが確認できました。
１度これらのインストールを行えば、今後は 1394-DFRW の IEEE 1394 コネクタを差し込むだけで使えるようになります。1394-DFRW を長期間使わないときは、メディアを取り出して、1394-DFRW を取り外しておけば、IEEE 1394 コネクタを有効に使用できます。

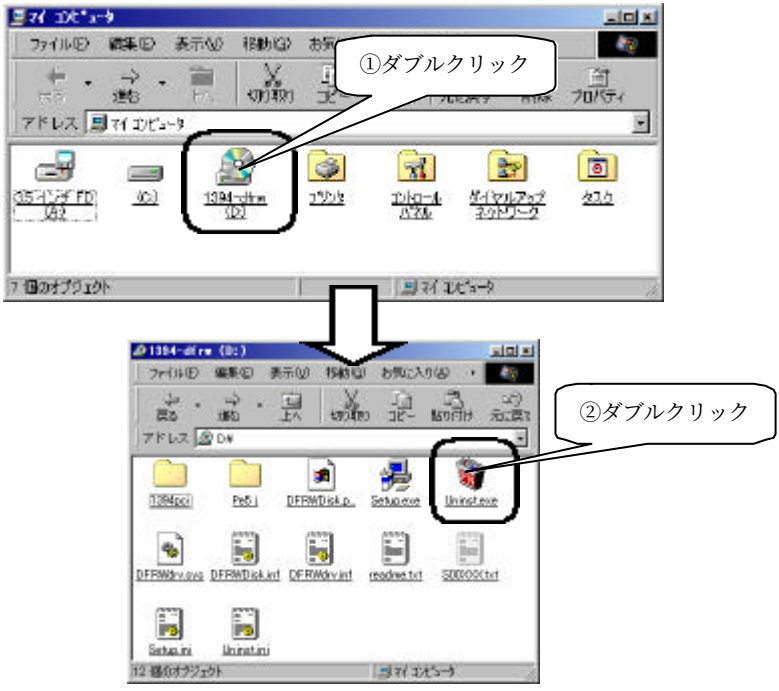
1394-DFRW は、コンパクトフラッシュやスマートメディアを挿入し、リムーバブルディスクとして使用できます。例えば、デジタルカメラで撮影したメディアを挿入すれば、デジタルカメラを接続する必要もなく、高速に画像をパソコンに取り込むことができます。
26 ページからの「使用編」をよくお読みの上、ご使用ください。

《インストール編》
インストールした情報を削除するには

1 1394-DFRW の ACCESS ランプが消えていることを確認して、パソコンから接続ケーブルを抜きます。

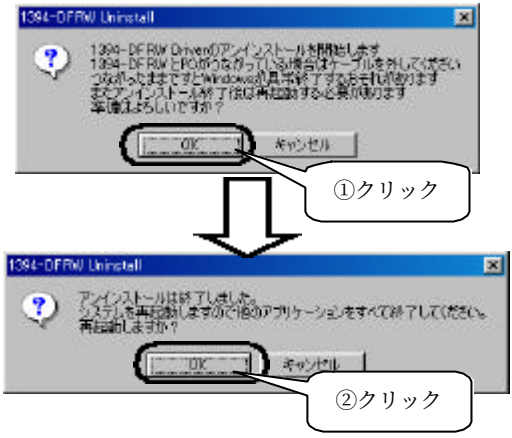
2 「1394-DFRW サポートソフト」ディスクを CD-ROM ドライブにセットします。

3 マイコンピュータなどで、CD-ROM ドライブにある[Uninst.exe]を起動します。



（CD-ROM ドライブが D ドライブの場合の例）

4 画面の指示にしたがって、処理を進めます。
再起動を促す画面が表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



パソコンが再起動したら、アンインストール終了です。
もう１度、本製品を使うときは、15 ページ「サポートソフトのインストール」から行ってください（IEEE 1394 コネクタを差すだけでは使えません）。

《使用編》
基本的な使い方

1394-DFRW を使うとき

スタンバイ機能がオフになっていることを確認し、パソコンに接続してください。(接続方法は 17 ページ、スタンバイ機能の確認は次ページ参照)

↓

メディアの出し入れ

メディアの出し入れは、28 ページ～を参照して、正しく行ってください。

↓

1394-DFRW を使わないとき

メディアが入っていないことを確認してから、IEEE 1394 コネクタを抜いてください。IEEE 1394 コネクタの抜き差しは、パソコンの電源が入っている状態でも入っていない状態でも可能です。

注意！

ACCESS ランプが点灯中は、メディアにアクセスしていますので、絶対にカバーを開けたり、ケーブルを抜いたりしないでください。
本製品やメディアが損傷したり、データが消失する可能性があります。

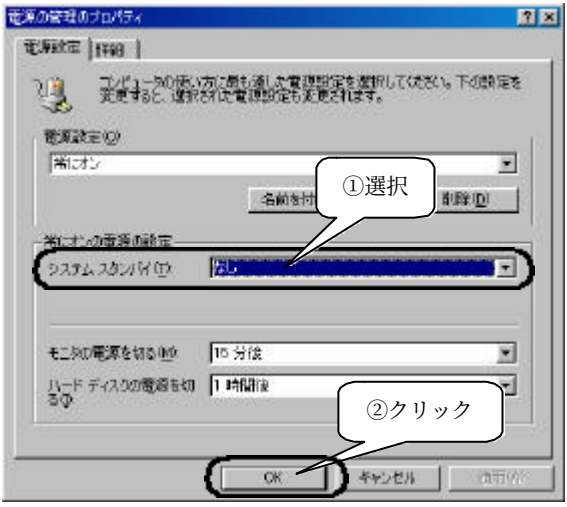
スタンバイ機能の確認

本製品はパソコンのスタンバイ機能がオンになっている状態では使用しないでください。

本製品をお使いになるときは、下記の手順でスタンバイ機能をオフに設定してください。

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、[電源の管理]をダブルクリックします。

2 [システムスタンバイ]を[なし]に設定して、[OK]ボタンをクリックします。

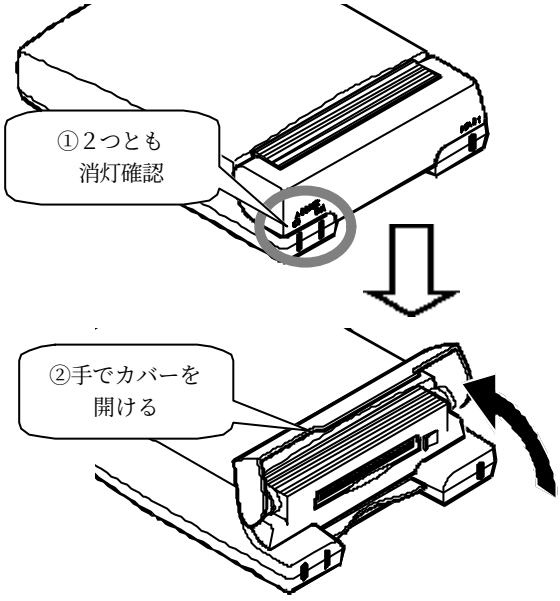


注意！

1. **ノートパソコンなどをお使いの場合で、画面上に[システムスタンバイ] という項目が表示されない場合は、特に設定する必要はありません。**
2. **[スタート] →[Windows の終了] で[スタンバイ] や[休止状態] を選んだり、パソコン本体やキーボード上のスタンバイボタン（スイッチ）は使用しないでください。**

メディアを入れる

ACCESS ランプが両方とも消えていることを確認して、カバーを開けます。



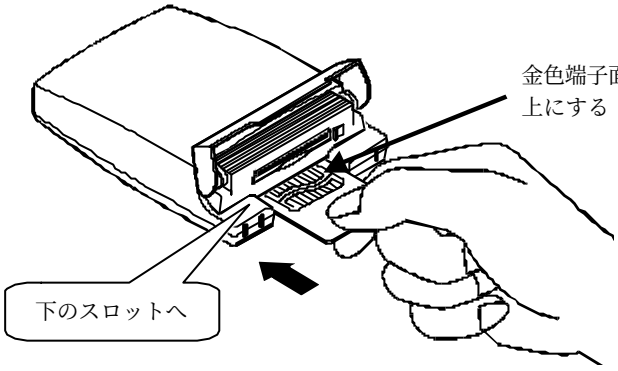
注意！

本製品はカバーを開けると自動的に電源が切れるようになっていますので、ACCESS ランプの点灯中は絶対にカバーを開けないでください。
また、入れるメディアの種類に係らず、ACCESS ランプは両方とも消えている状態を確認してから、カバーを開けてください。

2 下記の要領でメディアを挿入します。

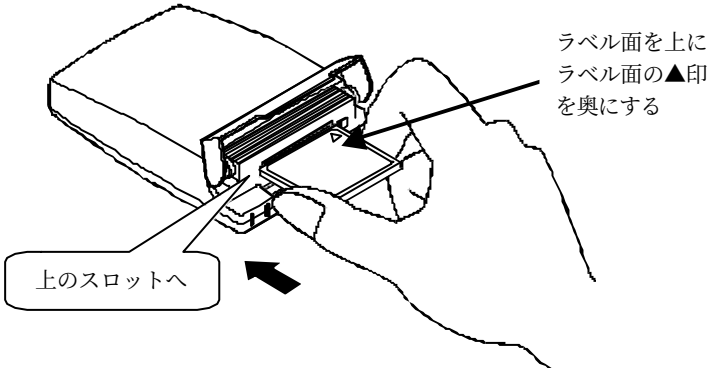
■スマートメディアの場合

下のスロットに入れます。メディアの金色端子面を上にし、挿入口に対し水平にして、手で最後まで押し込んでください。
最後まで押し込むと、メディアが少し手前に戻り、セットされます。



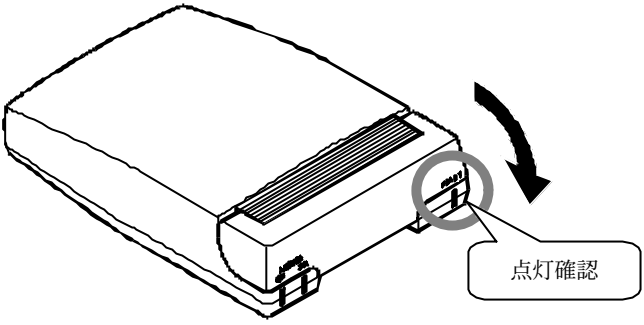
■コンパクトフラッシュ（マイクロドライブ）の場合

上のスロットへ入れます。メディアのラベル面を上、▲印を奥にして、手で最後まで押し込んでください。



3 カバーを閉じます。

READY ランプが点灯することを確認します。

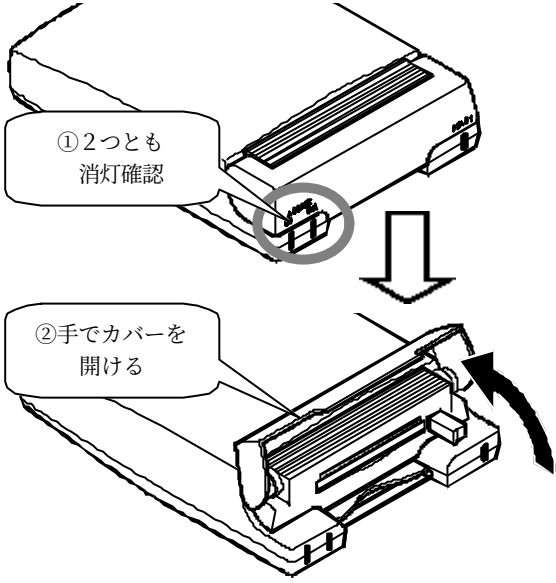


注意！

本製品はカバーを開けた状態では電源が供給されないので、パソコンには認識されません。メディアを入れたら、必ず、カバーを閉じてください。

メディアを抜く

ACCESS ランプが両方とも消えていることを確認して、カバーを開けます。



注意！

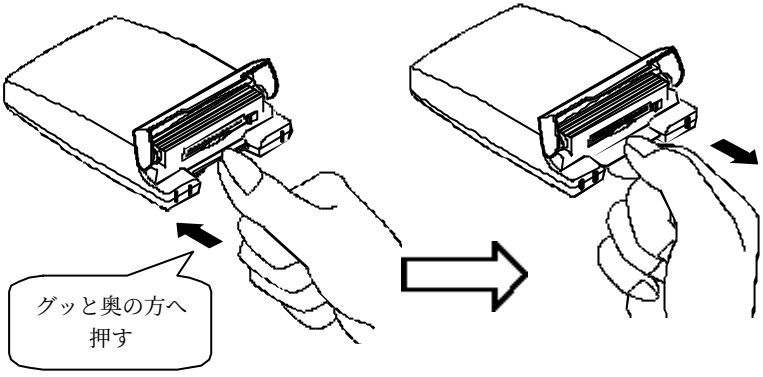
本製品はカバーを開けると自動的に電源が切れるようになっていますので、ACCESS ランプの点灯中は絶対にカバーを開けないでください。
また、抜きたいメディアの種類に係らず、ACCESS ランプは両方とも消えている状態を確認してから、カバーを開けてください。

2 下記の要領でメディアを抜きます。

■スマートメディアの場合

メディアの先端を奥の方へ押します。

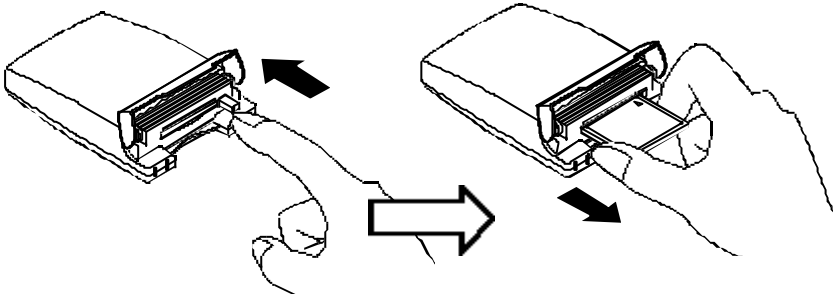
メディアが少し飛び出すので、挿入口に対して水平に抜きます。



■コンパクトフラッシュ（マイクロドライブ）の場合

イジェクトボタンを押します。

メディアが少し飛び出すので、挿入口に対して水平に抜きます。



3 カバーを閉じます。

《使用編》
デジタルカメラの画像を取り込むには

1394-DFRW および本製品添付の画像管理ソフト「PhotoExplorer 5.0 SE J」を使うと、デジタルカメラで撮影した画像をパソコンのハードディスクなどへ簡単・高速に取り込むことができます。デジタルカメラをパソコンに接続する必要もありません。
ここでは、PhotoExplorer 5.0 SE J のインストールおよび画像の取り込み方法を説明します。

PhotoExplorer 5.0 SE J とは?

●デジタルカメラで撮影した画像ファイルの他にも、ビデオファイルやサウンドファイルといった様々なマルチメディアファイルをビジュアル化して、簡単に検索・管理することができます。
●Windows エクスプローラのように、ツリー構造でフォルダを表示し、フォルダ選択と同時にファイルの内容（イメージ）を表示します。
表示された内容を視覚的に確認しながら「開く」、「削除する」、「移動する」、「コピーする」といった操作を間違いなく行うことができます。
また、ファイルを他のアプリケーションへ挿入したいときでも、ドラッグ&ドロップで簡単に実行できます。
●選択したイメージが並ぶ Web ページが簡単に作成できたり、スライドショーやカレンダー、スクリーンセーバ、壁紙などを簡単に作成することができます。

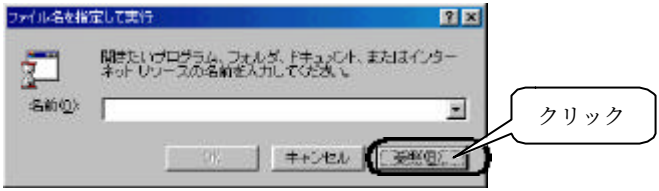
注意！

1．画像ファイルの形式によっては、PhotoExplorer 5.0 SE J で扱えない場合があります。詳細はPhotoExplorer 5.0 SE J のオンラインヘルプを参照してください。
2．PhotoExplorer 5.0 SE J のお問い合わせについては37 ページ「PhotoExplorer に関するお問い合わせ」を参照してください。

PhotoExplorer 5.0 SE J をインストールする

1 「1394-DFRW サポートソフト」ディスクを CD-ROM ドライブにセットします。

2 [スタート]→[ファイル名を指定して実行]を開き、[参照]ボタンをクリックします。



3 CD-ROMドライブのPe5_jフォルダにある Setup.exeを選択して、[開く]ボタンをクリックします。

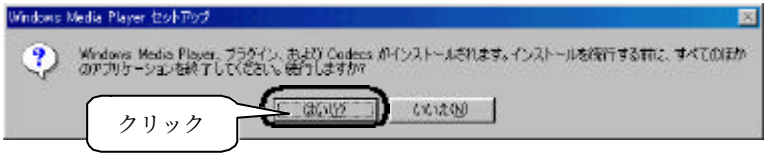
4 下記のように表示されることを確認して、[OK]ボタンをクリックします。

CD-ROM ドライブが D ドライブの場合の例

5 画面の指示にしたがって、インストールを進めてください。

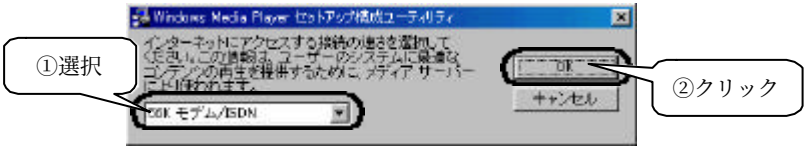
6 下記の画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

7 ReadMe ファイルを読み終えたら、画面を閉じます。下記の画面が表示されているので、[はい]ボタンをクリックします。



8 画面の指示にしたがって進めて行くと、下記の画面が表示されます。インターネットを使用している場合はお使いの接続の速さを選択し、[OK]ボタンをクリックします。

インターネットを使用していない場合は[不明/その他]を選んでください。



9 **インストール中に下記のような画面が表示された場合は、[はい]ボタンをクリックしてください。処理を続行します。**

10 **[OK]ボタンをクリックすると、インストール終了です。**

これで、PhotoExplorer 5.0 SE J のインストールが終了しました。

PhotoExplorer に関するお問い合わせ

PhotoExplorer 5.0 SE J に関するお問い合わせは、弊社サポートセンターでは受け付けておりません。下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

ユーリードシステムズ株式会社　ユーザーサポート窓口

TEL　03-5491-5662　FAX 03-5491-5663

受付時間：月～金曜日 10：00～12:00　13:00～17:00

（特定休業日、祝祭日を除く）

サポートE-mail　support@ulead.co.jp

ホームページ　http://www.ulead.co.jp

住所　〒158-0097　東京都世田谷区用賀 4-5-16　ＴＥビル

PhotoExplorer 5.0 SE J のユーザー登録

PhotoExplorer 5.0 SE J に関するお問い合わせやアップグレードなどのサービスを受けるためには、ユーリードシステムズ社へのユーザー登録が必要です。ユーザー登録されていない場合、サポートをお断りする場合もございます。ご了承ください。本製品添付のユーリードシステムズ社用ユーザー登録カードに所定の事項を記入してご投函ください。なお、サポート時に必要となるシリアル番号は再発行いたしませんので、お客様の責任で管理していただきますようお願い申し上げます。

デジタルカメラで撮影した画像を取り込む

インストールした PhotoExplorer 5.0 SE J を使ってデジタルカメラで撮影した画像をパソコンで表示し、必要な画像をハードディスクへ保管してみましょう。

1 デジタルカメラから撮影済みのメディアを取り出します。

取り出し方はデジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

2 取り出したメディアを 1394-DFRW のドライブに挿入します。

3 [スタート]→[プログラム]→[Ulead PhotoExplorer 5.0]を開き、[Ulead PhotoExplorer 5.0]をクリックします。

4 PhotoExplorer 5.0 SE J が起動したら、左側のツリー構造からメディアを挿入したドライブ（またはフォルダ）をクリックします。

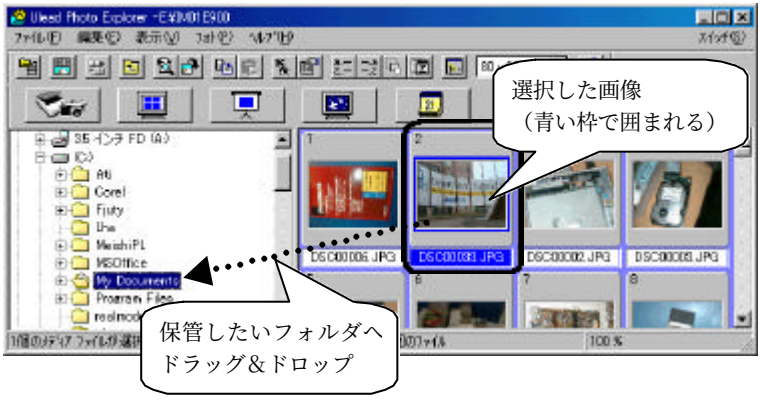
右側のウィンドウには、選択したドライブ（またはフォルダ）に入っている画像ファイルの内容が表示されます。

注意！

使用するデジタルカメラによっては、撮影された画像をメディアの中の特定フォルダに保存している場合があります。画像の保存フォルダの名称・場所等については、デジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

5 パソコンに画像を取り込みます。

1. 取り込みたい画像をクリックします（複数選択したい場合は、[CTRL]キーを押しながらクリック）。
2. 保管先（ハードディスクなど）のフォルダを表示します。
3. [CTRL]キーを押しながら、画像をフォルダへドラッグ＆ドロップします。**([CTRL]キーを押さない場合は、移動になります)**



6 [ファイル]メニューの[終了]を選ぶか、画面右上の[×]ボタンをクリックすると、PhotoExplorer 5.0 SE J が終了します。

7 1394-DFRW からメディアを抜きます。

メディアの抜き方は 31 ページを参照してください。

PhotoExplorer 5.0 SE J の詳しい使い方については、オンラインヘルプを参照してください。快適なマルチメディアライフをお楽しみください。

《使用編》
ディスクドライブとして使用するには

コンパクトフラッシュやスマートメディアは、デジタルカメラなどの AV 機器で使うだけでなく、フロッピーディスクや MO のように、ワープロの文書などを始めとして一般のデータファイルを保存することができます。
フロッピーディスクよりはるかに容量が大きくメディアサイズも小さいので、保存、持ち運びが簡単に行えます。

ファイルをコピー（移動）する

通常、メディアはフォーマットされた状態で販売されていますので、すぐにファイルをコピーすることができます。方法はハードディスクなどの場合と全く同じです。特にフォーマットが必要な場合は、コピーする前に、42 ページ「フォーマットするには」を参照して、フォーマットを行ってください。

1 1394-DFRW にメディアを挿入します。

2 [マイコンピュータ]で、コピー（移動）元のファイルを指定します。

1. 対象となるファイルが保存されているドライブアイコン（またはフォルダアイコン）をダブルクリックします。
2. 対象となるファイルをクリックします。
3. [編集]メニューから、[コピー]（または[切り取り]）をクリックします。

3 [マイコンピュータ]で、メディアを挿入したドライブをダブルクリックします。

先に表示されている方がスマートメディアのドライブ（下記例ではＥドライブ）で、後に表示されている方がコンパクトフラッシュのドライブ（下記例ではＦドライブ）になります。

1394-DFRW が E,F ドライブに割り当てられた場合の例

リムーバブルドライブが
表示されない場合は…

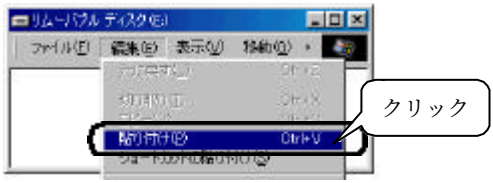
「困ったときには」
77 ページ
をご参照ください。

エラーメッセージが
表示される場合は…

「困ったときには」
77 ページ
をご参照ください。

4 [編集]メニューから[貼り付け]をクリックします。

選択したファイルがコピー（移動）され、指定したリムーバブルディスクに表示されます。



ファイルの削除、フォルダの新規作成など、[マイコンピュータ]上での操作は、ハードディスクなどの場合と同じように行なうことができます。

《使用編》
フォーマットするには

デジタルカメラなどのAV 機器で使う場合は、AV 機器側でメディアをフォーマットしてください。方法はAV 機器の取扱説明書を参照してください。

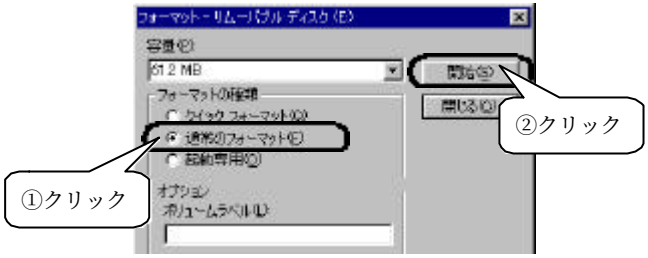
メディアをパソコンだけで使う場合で、特にフォーマットが必要となる場合は、下記に示す手順でフォーマットを行ってください。ただし、このフォーマットを行うと AV 機器では使用できなくなる場合があります。その場合は、再度、AV 機器側でフォーマットしてください。

注意！

フォーマットを行った場合、メディアに保存されている内容はすべて消去されます。必要ならば、バックアップを取ってからフォーマットしてください。
また、フォーマット操作を間違えると、別のハードディスクなどのデータを消去してしまう可能性があるので、操作は慎重に行ってください。

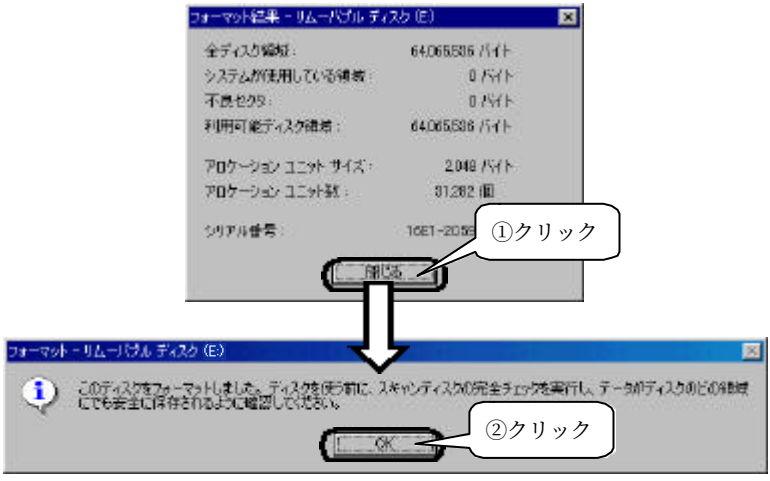
[マイコンピュータ]を開き、1394-DFRW のリムーバブルディスク（メディアを入れた方）を右クリックして、[フォーマット]を選びます。

2 [通常のフォーマット]を選び、[開始]ボタンをクリックします。



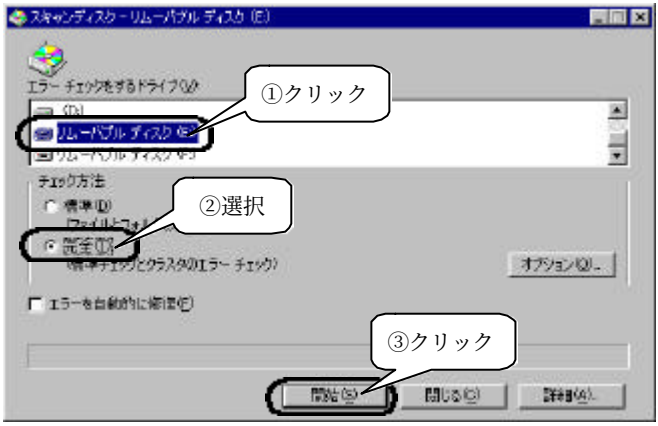
3 メディアを確認して、[OK]ボタンをクリックします。

4 フォーマット結果が表示されたら、[閉じる]ボタンをクリックします。下の画面が表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



5 [Windows のヘルプ]が表示されるので、下線部をクリックしてスキャンディスクを実行します。

6 フォーマットしたドライブ名を選択し、[完全]をチェックした後、[開始]ボタンをクリックします。



7 スキャンディスクを実行後、結果が表示されたら[閉じる]ボタンをクリックします。
開いている画面をすべて閉じてください。

これでフォーマットは終了です。

3 Mac OSで使うには

この章では、本製品をMac OSで使用する場合の、インストールから使用方法までを説明します。

インストール編（必須）

本製品をMac OSで使用するときは、必ず行ってください。

P47　インストールする前に

インストールする前に、ご使用のMac OSのバージョンなどを確認してください。バージョンによっては、インストールする前にMac OSのバージョンアップや必要なソフトウェアのインストールを行う必要があります。

P50　サポートソフトのインストール

サポートソフトのインストールを説明します。

P52　パソコンと接続する

1394-DFRWをパソコンに接続します。

P57　インストールした情報を削除するには

サポートソフトの削除（アンインストール）方法を説明します。

メディアの出し入れ方法や注意事項、メディアをパソコンで使用するときのフォーマット方法などを説明しています。

P59　基本的な使い方

メディアの出し入れ、1394-DFRW の取り外し、およびその際の注意事項などを説明しています。必ずお読みください。

P65　デジタルカメラの画像を取り込むには

デジタルカメラで使用したメディアを本製品に入れて、画像をパソコンに取り込む方法を簡単に説明しています。

P66　ディスクドライブとして使用するには

本製品はリムーバブルディスクドライブとして使用することができます。その場合の使い方を説明します。

P68　フォーマットするには

メディア購入時はフォーマットされた状態なので、そのまま使えます。
ただし、特にフォーマットが必要な場合、この項を参照してフォーマットを行ってください。

《インストール編》
インストールする前に

インストールを行う前に、下記手順にしたがってご使用の Mac OS のバージョンや必要なソフトウェアを確認してください。

バージョンの確認

1 [Apple システム・プロフィール] を選択します。

[Apple] メニューをクリックします。開いたメニューの中に表示された [Apple システム・プロフィール] をクリックします。

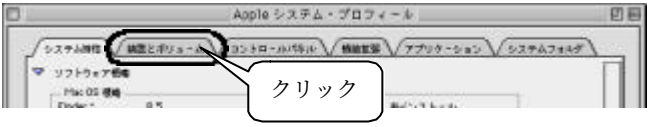
2 Mac OS のバージョンを確認します。

表示されたバージョンが…

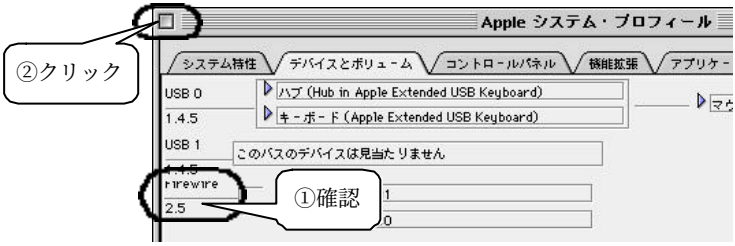
8.5.1 未満の場合は…

Mac OS を 8.5.1 以降にバージョンアップしてください。その後、手順 **3** 以降を行ってください。

3 ［装置とボリューム］タブ（または[デバイスとボリューム]）をクリックします。



4 FireWire のバージョンを確認後、左上の[クローズボックス]をクリックして「Apple システム・プロフィール」を閉じます。



表示されたバージョンが…

2.0 未満の場合は… → 下記「FireWire のアップデート」へ進んでください。

2.0 以降の場合は… → 次ページ「File Exchange の確認」へ進んでください。

FireWire のアップデート

1394-DFRW を使うためには、FireWire のバージョンを 2.0 以降にアップデートする必要があります。アップデートに関する詳細はアップルコンピュータ株式会社ホームページ（http://www.apple.co.jp/）をご覧になるか、アップルコンピュータ株式会社にお問い合わせください。

FileExchange の確認

スマートメディアやコンパクトフラッシュをお使いいただくためには、Mac OS 付属の「FileExchange」が必要です。下記の手順で確認してください。

1 「システムフォルダ」の[コントロールパネル]にある[機能拡張マネージャー]をダブルクリックします。

2 「FileExchange」のチェックボックスに[×]マークが付いていることを確認します。

付いていない場合のインストール方法などについては、「Mac OS ヘルプ」もしくはアップルコンピュータ株式会社にお問い合わせください。

File Exchange がインストールされているときは、次ページ「サポートソフトのインストール」へ進んでください。

《インストール編》
サポートソフトのインストール

インストールは本製品を接続する前に行います。

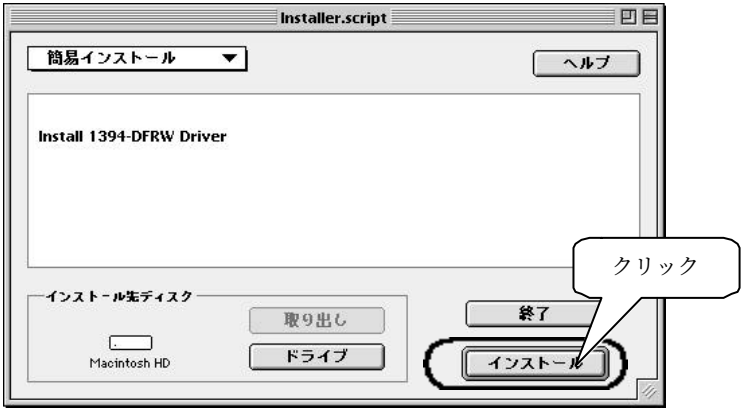
ここではまだ本製品をパソコンに接続しないでください。

1 パソコンの電源を入れ、Mac OS を起動します。

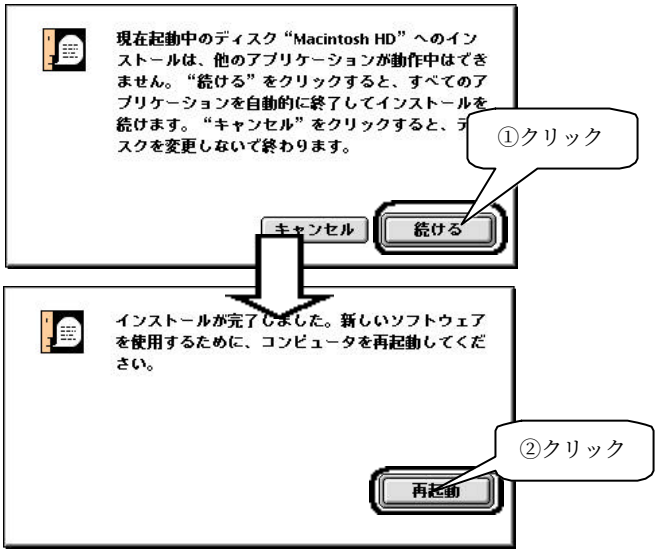
2 「1394-DFRW サポートソフト」ディスクを CD-ROM ドライブにセットして、マウントされた CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

3 [1394-DFRW Installer/Uninstaller]アイコンをダブルクリックします。

4 [インストール]ボタンをクリックします。



5 画面の指示に従ってインストールを進めます。再起動を促す画面が表示されたら、[再起動]ボタンをクリックします。



パソコンが再起動したらソフトウェア側の準備はＯＫです。
この作業を行うのは、初めて 1394-DFRW をお使いになるときだけです。
それでは、次に 1394-DFRW を接続してみましょう。次ページへ進んでください。

《インストール編》
パソコンと接続する

FireWire ポートには、4 ピンタイプと 6 ピンタイプがあります。
接続の前にパソコン側の FireWire ポートがどちらのタイプかを確認してください。

6 ピンタイプのポート

4 ピンタイプのポート

- パソコン側の FireWire ポートが 6 ピンの場合
  本製品添付の接続ケーブルが使用できます。次ページ「パソコン側のポートが 6 ピンの場合」を参照して接続してください。
  ただし、3.6W 以上のバスパワーが供給できないときは、別売の AC アダプタを別途お買い求めの上、接続してください。

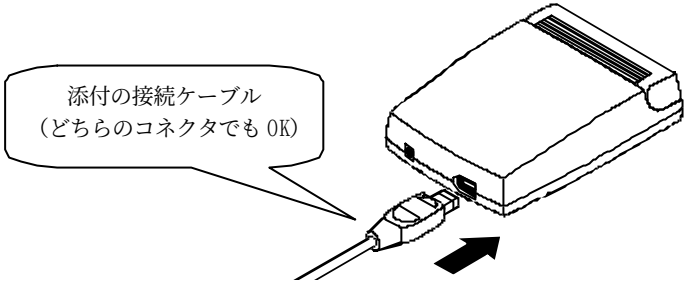
- パソコン側の FireWire ポートが 4 ピンの場合
  市販の 6 ピン⇔4 ピン接続ケーブル、および、AC アダプタを別途お買い求めください。
  ご用意できましたら、55 ページ「パソコン側のポートが 4 ピンの場合」を参照して、接続してください。

AC アダプタについては、7 ページ「別売の AC アダプタについて」を参照してください。

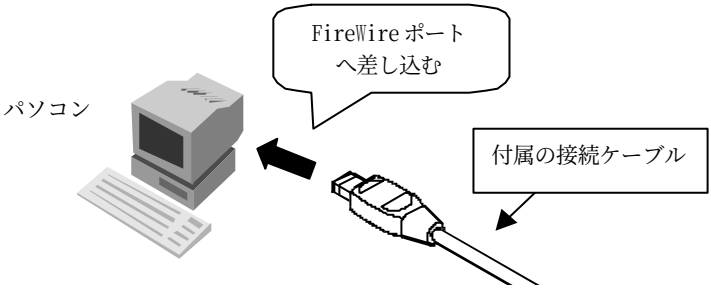
パソコン側のポートが6 ピンの場合

1 本製品背面の IEEE 1394 ポートに接続ケーブルを差し込みます。

IEEE 1394 コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。



2 パソコン側の FireWire ポートに、接続ケーブルの IEEE 1394 コネクタを差し込みます。



注意！

3. **パソコン側のFireWire ポートが複数ある場合は、どのポートに接続してもかまいません。なお、パソコン側のFireWire ポートの位置は、お使いの機器の取扱説明書をご参照ください。**
4. **3.6W 以上のバスパワーが供給できない場合は、55 ページの手順2 を参照して、別売のAC アダプタを接続してください。**

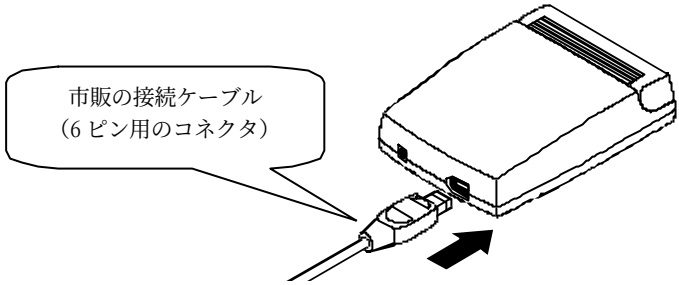
これで 1394-DFRW が使用できるようになりました。
今後は 1394-DFRW の IEEE 1394 コネクタを差し込むだけで使えるようになります。
1394-DFRW を使わないときは、メディア取り出しを確認後、1394-DFRW を取り外しておけば FireWire ポートを有効に使用できます。

1394-DFRW は、コンパクトフラッシュやスマートメディアを挿入し、リムーバブルディスクとして使用できます。例えば、デジタルカメラで撮影したメディアを挿入すれば、デジタルカメラを接続する必要もなく、高速に画像をパソコンに取り込むことができます。
59 ページからの「使用編」をよくお読みの上、ご使用ください。

パソコン側のポートが4 ピンの場合

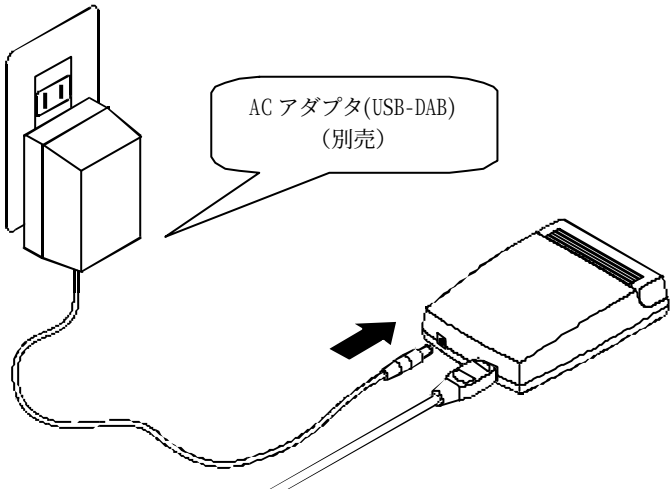
1 本製品背面の IEEE 1394 ポートに、市販の接続ケーブルの 6 ピンコネクタを差し込みます。

IEEE 1394 コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。



2 本製品背面の DC IN コネクタに、AC アダプタケーブルのジャックを差し込み、AC アダプタを電源コンセントに差し込みます。

AC アダプタについては 7 ページ「別売の AC アダプタについて」を参照してください。



3 パソコン側の FireWire ポートに、接続ケーブルの 4 ピンコネクタを差し込みます。

IEEE 1394 コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

注意！

1. **パソコン側のFireWire ポートの位置は、お使いの機器の取扱説明書をご参照ください。**
2. **パソコン側のFireWire ポートが複数ある場合は、どのポートに接続してもかまいません。**

これで 1394-DFRW が使用できるようになりました。
今後は 1394-DFRW の IEEE 1394 コネクタを差し込むだけで使えるようになります。
1394-DFRW を長期間使わないときは、メディア取り出しを確認後、1394-DFRW を取り外しておけば FireWire ポートを有効に使用できます。

1394-DFRW は、コンパクトフラッシュやスマートメディアを挿入し、ハードディスクと同じように使用できます。例えば、デジタルカメラで撮影したメディアを挿入すれば、デジタルカメラを接続する必要もなく、高速に画像をパソコンに取り込むことができます。
59 ページからの「使用編」をよくお読みの上、ご使用ください。

《インストール編》
インストールした情報を削除するには

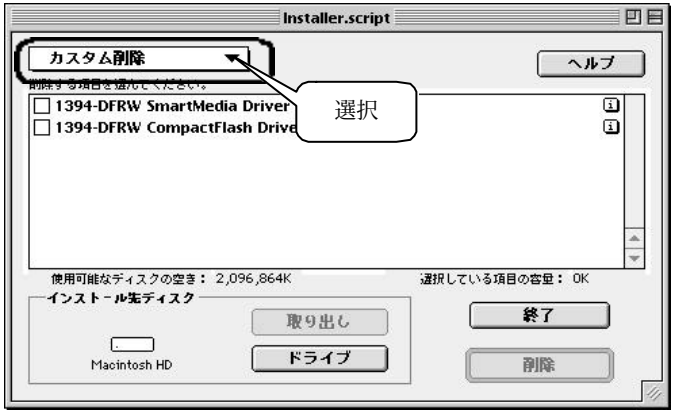
1 1394-DFRW の READY ランプが消えていることを確認して、パソコンから接続ケーブルを抜きます。

READY ランプが点灯しているときは、ドライブアイコンがマウントされています。ドライブアイコンをごみ箱へドラッグ＆ドロップしてください。

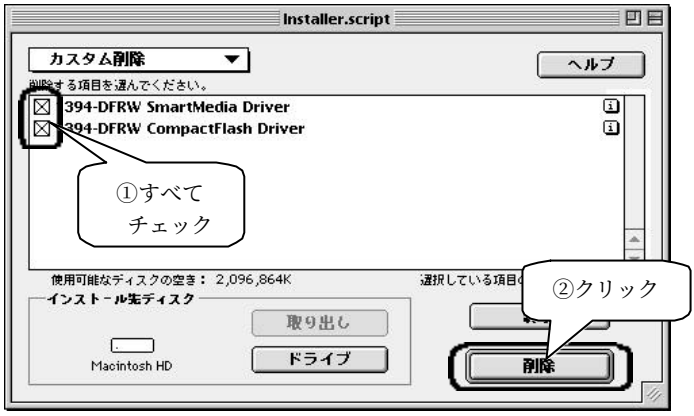
2 「1394-DFRW サポートソフト」ディスクを CD-ROM ドライブにセットして、マウントされた CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

3 [1394-DFRW Installer/Uninstaller]アイコンをダブルクリックします。

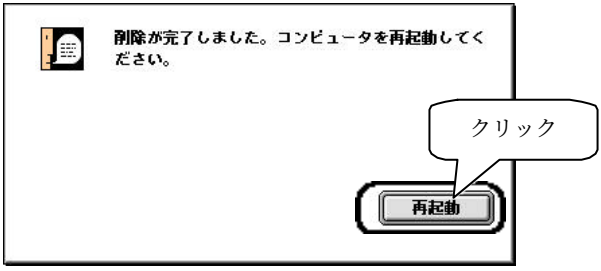
4 [カスタム削除]を選択します。



5 チェックボックスをすべてオンにして、[削除]ボタンをクリックします。



6 画面の指示に従って、処理を進めます。再起動を促す画面が表示されたら、[再起動]ボタンをクリックします。



パソコンが再起動したら、アンインストール終了です。
もう１度、本製品を使うときは、50 ページ「サポートソフトのインストール」から行ってください（IEEE 1394 コネクタを差すだけでは使えません）。

《使用編》
基本的な使い方

1394-DFRW を使うとき

IEEE 1394 コネクタをパソコンの FireWire ポートに差し込んでください（接続方法は 52 ページ参照）。

↓

メディアの出し入れ

メディアの出し入れ方法については、下記ページを参照してください。
・メディアの入れ方：次ページ
・メディアの抜き方：63 ページ

↓

1394-DFRW を使わないとき

メディアが入っていないことを確認してから、IEEE 1394 コネクタを抜いてください。IEEE 1394 コネクタの抜き差しは、パソコンの電源が入っている状態でも入っていない状態でも可能です。

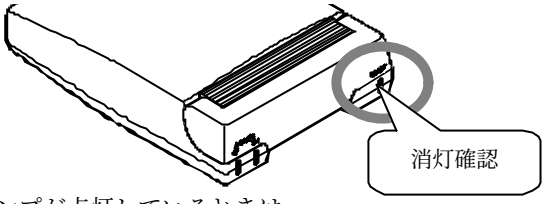
注意！

ACCESS ランプが点灯中は、メディアにアクセスしていますので、絶対にカバーを開けたり、ケーブルを抜いたりしないでください。
本製品やメディアが損傷したり、データが消失する可能性があります。

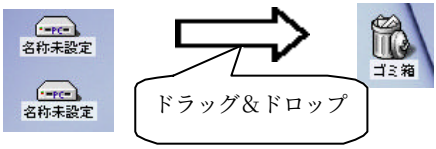
メディアを入れる

1 READY ランプが消えていることを確認します。

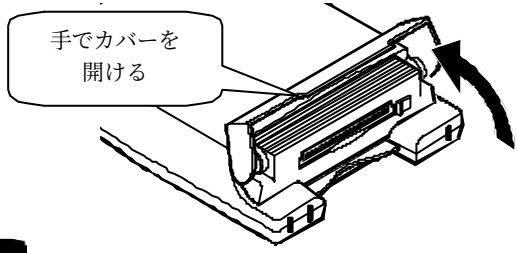
消えていないときは、ドライブアイコンがマウントされています。ドライブアイコンを[ゴミ箱]にドラッグ＆ドロップしてください。入れるメディアの種類に関係なく、２つのドライブアイコンがマウントされていたら、両方とも[ゴミ箱]へ入れてください。



READY ランプが点灯しているときは…



2 カバーを開けます。



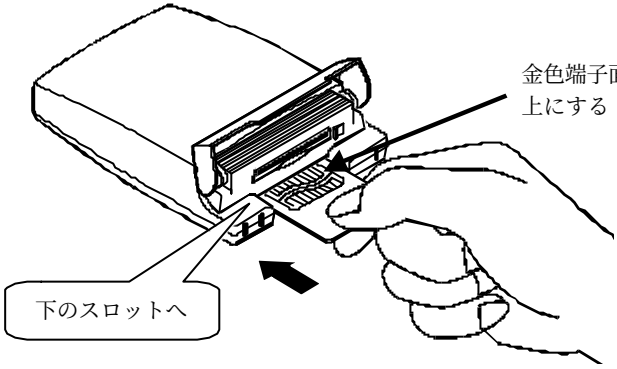
注意！

本製品はカバーを開けると自動的に電源が切れるようになっていますので、ドライブアイコンがマウントされた状態（READY ランプ点灯中）では、絶対にカバーを開けないでください。
また、入れるメディアの種類に関係なく、２つのドライブアイコンがマウントされていたら、両方とも[ゴミ箱] へ入れてください。

3 下記の要領でメディアを挿入します。

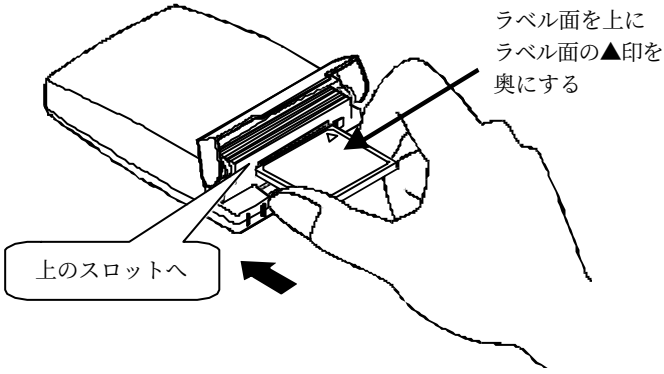
■スマートメディアの場合

下のスロットに入れます。メディアの金色端子面を上にし、挿入口に対し水平にして、手で最後まで押し込んでください。
最後まで押し込むとメディアが少し手前に戻り、きちんとセットされます。



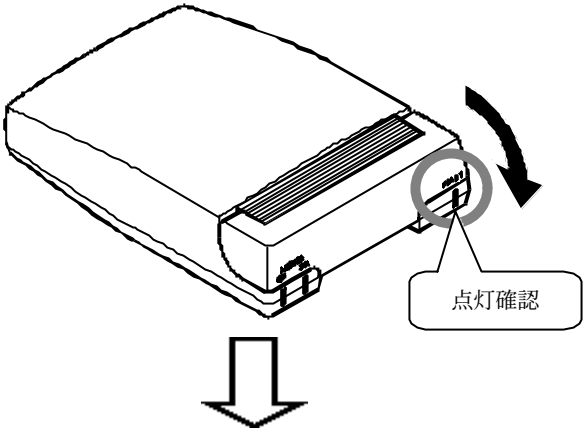
■コンパクトフラッシュ（マイクロドライブ）の場合

上のスロットへ入れます。メディアのラベル面を上、▲印を奥にして、手で最後まで押し込んでください。



4 カバーを閉じます。

READY ランプが点灯し、ドライブアイコンがマウントされることを確認します。



デスクトップにマウントされたアイコン

アイコンがマウントされない場合は…

「困ったときには」83 ページをご参照ください。

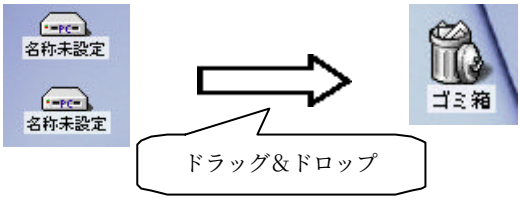
注意！

1. **本製品はカバーを開けた状態では電源が供給されないので、デスクトップにアイコンがマウントされません。**
   メディアを入れたら、必ず、カバーを閉じてください。
2. **１種類のメディアを入れた場合は１つのアイコンしかマウントされません。**

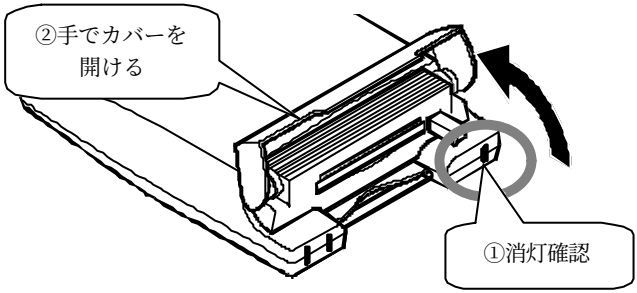
メディアを抜く

1 マウントされているドライブアイコンを[ゴミ箱]にドラッグ&ドロップします。

2つともマウントされている場合は、両方ともゴミ箱に入れてください。



2 READY ランプが消えていることを確認して、カバーを開けます。



注意！

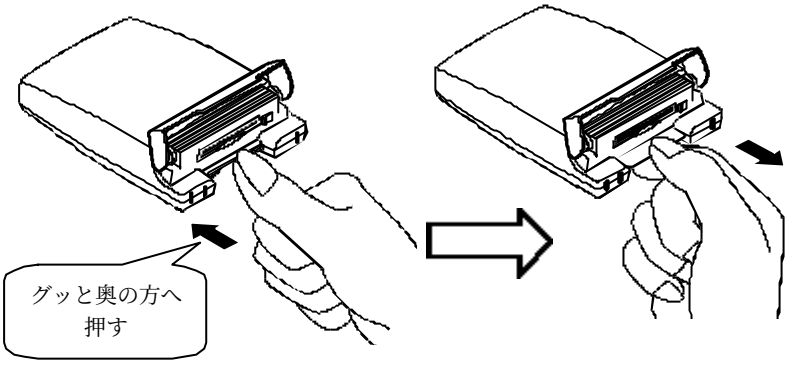
本製品はカバーを開けると自動的に電源が切れるようになっていますので、ドライブアイコンがマウントされた状態（READY ランプ点灯中）では、絶対にカバーを開けないでください。
また、入れるメディアの種類に関係なく、2つのドライブアイコンがマウントされていたら、両方とも[ゴミ箱] へ入れてください。

3 下記の要領でメディアを抜きます。

■スマートメディアの場合

メディアの先端を奥の方へ押します。

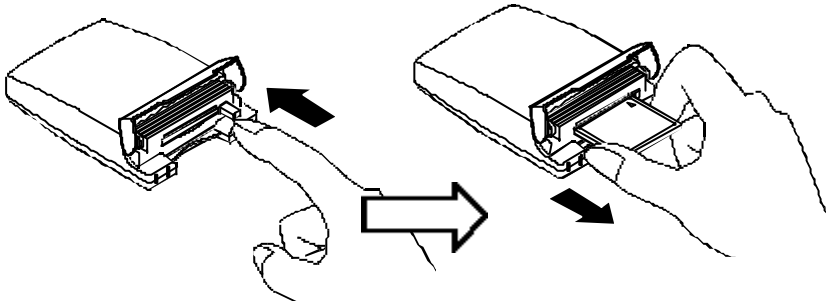
メディアがが少し飛び出すので、そのまま抜きます。



■コンパクトフラッシュ（マイクロドライブ）の場合

イジェクトボタンを押します。

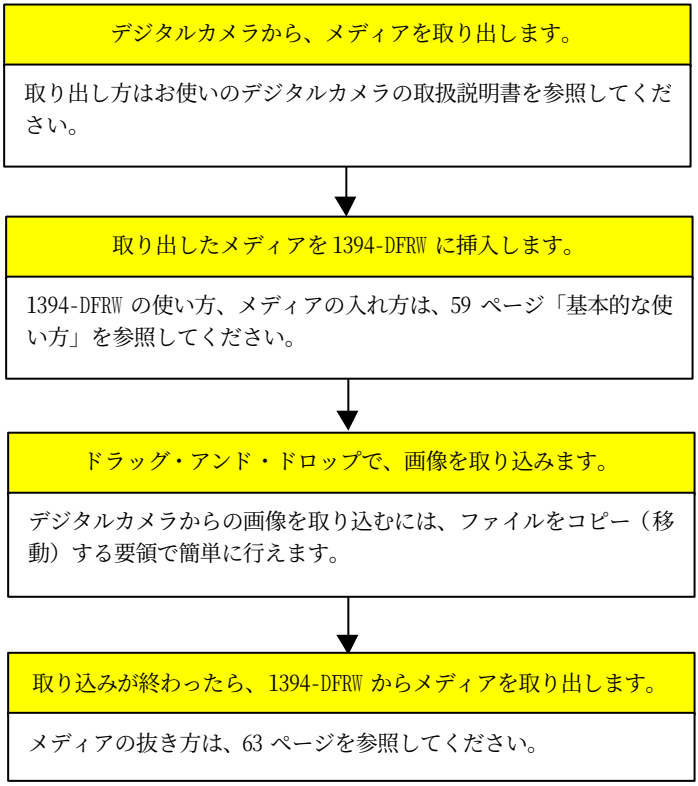
メディアが少し飛び出すので、そのまま抜きます。



4 カバーを閉じます。

《使用編》
デジタルカメラの画像を取り込むには

1394-DFRW を使うと、デジタルカメラで撮影した画像を、カメラをパソコンに接続せずに高速に取り込むことができます。
手順は以下の通りです。



1394-DFRW を使って、快適なマルチメディアライフをお楽しみください。

《使用編》
ディスクドライブとして使用するには

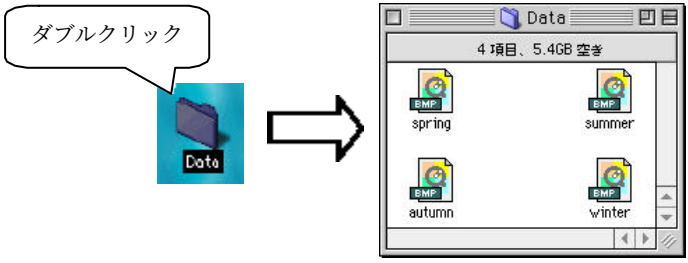
コンパクトフラッシュやスマートメディアは、デジタルカメラなどの AV 機器で使うだけでなく、フロッピーディスクや MO のように、ワープロなどの文書を始めとしていろいろなファイルを保存することができます。
フロッピーディスクよりはるかに容量が大きくメディアサイズも小さいので、安心です。

ファイルをコピーする

通常、メディアはフォーマットされた状態で発売されていますので、すぐにファイルをコピーすることができます。方法はハードディスクなどの場合と全く同じです。特にフォーマットが必要な場合は、コピーする前に、68 ページ「フォーマットするには」を参照して、フォーマットを行ってください。

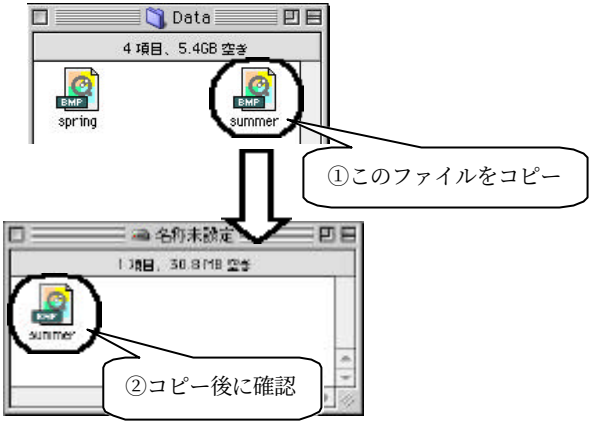
1 1394-DFRW にメディアを挿入します。

2 コピー元のファイルが保存されているフォルダアイコンをダブルクリックして、開きます。



フォルダ名が「Data」の例

3 デスクトップ上で、メディアを挿入したドライブにコピーします。



ファイルの削除、フォルダの新規作成など、デスクトップ上での操作は、ハードディスクなどの場合と同じように行なうことができます。
なお、Windows 上で作成したデータは Mac OS でも読み込むことはできますが、Mac OS 上で作成したデータは Windows では読み込むことはできませんので、ご注意ください。

《使用編》
フォーマットするには

デジタルカメラで使う場合は、カメラ側でメディアをフォーマットしてください。方法はデジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

メディアをパソコンだけで使う場合で、特にフォーマットが必要となる場合は、下記に示す手順でフォーマットを行ってください。ただし、このフォーマットを行うとデジタルカメラでは使用できない場合もありますので、その場合は、再度デジタルカメラ側でフォーマットが必要になります。

注意！

フォーマットを行った場合、メディアに保存されている内容はすべて消去されます。必要ならば、バックアップを取ってからフォーマットしてください。
また、最初に選択するドライブアイコンを間違えると、別のドライブのデータを消去してしまう可能性があるので、操作は慎重に行ってください。

1 フォーマットしたいドライブアイコンを選択してから、[特別]メニューの[ディスクの初期化]をクリックします。

名称未設定のドライブアイコンが複数ある場合は、選択するアイコンを間違えないようにご注意ください。

2 メディアを確認して、[初期化]ボタンをクリックします。

3 画面が消えたら、フォーマット完了です。

これでフォーマットは終了です。

注意！

Windows でフォーマットしたメディアはMac OS でも読み込むことはできますが、Mac OS でフォーマットしたメディアはWindows では読み込むことはできません。

MEMO

4 付　録

ここでは、以下のことを説明します。必要に応じてお読みください。

P72　困ったときには＜目次＞

うまく取り付けできない、思ったように動作しないときなどには、同じ現象がないかどうか、まず、ここを参照してください。

P74　困ったときには

ここには問題の現象とその対処方法が書かれています。問題の大半はすぐに解決できることです。是非、お試しください。

P84　ハードウェア仕様

本製品の基本仕様を説明してあります。

P85　用語解説

本製品に関する基本的な用語を簡単に説明してあります。

困ったときには<目次>

状態	参照頁
接続ケーブルの IEEE 1394 コネクタがパソコンの IEEE 1394 ポートに入らない	74
デバイスマネージャによる確認で、「1394-DFRW SM/CF Reader Writer」または「1394 SM/CF Reader Writer Controller」が表示されない、または、先頭に「！」や「×」マークが付いている	74
マイコンピュータでリムーバブルディスクアイコンが表示されない	75
どのリムーバブルディスクが 1394-DFRW なのかが判別できない	76

使用時のトラブル (Windows 編)

状態	参照頁
マイコンピュータでリムーバブルディスクアイコンが表示されない	77
リムーバブルディスクアイコンをダブルクリックすると、エラーメッセージが表示される	77
スマートメディアにファイルをコピーしようとすると「書き込みできません」と表示される	78
デジタルカメラの画像取り込みで、画像が取り込めない	81
デジタルカメラでメディアに画像が保存できなくなった	81
リムーバブルディスクから音声ファイルを再生すると、音飛びが起こる	81

状態	参照頁
接続ケーブルの IEEE 1394 コネクタがパソコンの FireWire ポートに入らない	82
「必要なソフトウェアが見つかりません」と表示された	82

使用時のトラブル (Mac OS 編)

状態	参照頁
ドライブアイコンがマウントされない	83

困ったときには

接続から動作確認まで（Windows 編）

接続ケーブルの IEEE 1394 コネクタがパソコンの IEEE 1394 ポートに入らない

原因 接続ケーブルの IEEE 1394 コネクタの向きが正しくない。

対処 コネクタの向きを変えてもう 1 度差し込んでください。向きが一致していれば、コネクタを差し込むのに力は必要ありません。

原因 パソコン側の IEEE 1394 ポートが 4 ピンタイプである。

対処 本製品添付の接続ケーブルは 6 ピンタイプ用のものです。パソコン側の IEEE 1394 ポートが 4 ピンタイプの場合は、別途、6 ピン⇔4 ピン接続ケーブルをパソコン販売店などでお買い求めください。なお、その場合は AC アダプタも必要になります（7 ページ「別売の AC アダプタについて」参照）。
6 ピン⇔4 ピンケーブルの接続方法については 19 ページ「パソコン側の IEEE 1394 ポートが 4 ピンの場合」を参照してください。

デバイスマネージャによる確認で、「1394-DFRW SM/CF Reader Writer」または「1394 SM/CF Reader Writer Controller」が表示されない、または、先頭に「!」や「×」マークが付いている

原因 本製品がパソコンに接続されていない。

対処 本製品をパソコンに取り付けた状態で、デバイスマネージャの確認を行ってください。

原因 1394-DFRW のカバーを開けたままである。

対処 カバーを開けた状態では、パソコン側で本製品が認識できません。カバーを閉めてください。

原因 サポートソフトがインストールされていない、または、正しくインストールされていない。

対処 本製品を接続する前に、サポートソフトのインストールが必要です。まだ、サポートソフトをインストールしていない場合は、接続ケーブルをパソコンから取り外し、15 ページ「サポートソフトのインストール」を参照してインストールを行ってください。
サポートソフトのインストール後に接続したのに表示された場合は、何らかの原因で正しくインストールされていない可能性があります。24 ページ「インストールした情報を削除するには」を参照して、いったんサポートソフトを削除した後、もう 1 度、15 ページ「サポートソフトのインストール」を行ってください。

原因 デバイス認識されていない（パソコン本体以外の IEEE 1394 ポートに接続した場合）。

対処 以下の方法を試してみてください。

- IEEE 1394 コネクタを抜いて、接続し直す。
- 別の IEEE 1394 ポートに接続してみる。

それでも同じ現象の場合は、パソコン本体の IEEE 1394 ポートに直接接続してください。

マイコンピュータでリムーバブルディスクアイコンが表示されない

原因 1394-DFRW のカバーを開けたままである。

対処 カバーを開けた状態では、パソコン側で本製品が認識できません。カバーを閉めてください。

原因 1394-DFRW が接続されていない、または接続が正しくない。

対処 1394-DFRW を接続していない状態では、マイコンピュータにリムーバブルディスクアイコンは表示されません。接続を確認してください。

原因 正しくインストールされていない。

対処 デバイスマネージャによる確認で正しく表示されることを確認してください。正しく表示されるようなら、[表示]メニューの[最新の情報に更新]を行ってみてください。

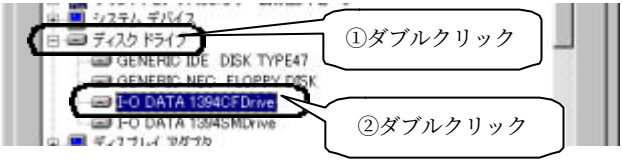
どのリムーバブルディスクが1394-DFRWなのかが判別できない

対処　1394－DFRW が接続してある状態で、下記の手順で確認してください。

1　[マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]を選びます。

2　[デバイスマネージャ]タブをクリックします。

3　[ディスクドライブ]をダブルクリックして、[I-O DATA 1394CFDrive]をダブルクリックします。



4　[設定]タブをクリックして、[現在のドライブ文字割り当て]を確認します。
ここに表示されているアルファベットが、1394-DFRW のコンパクトフラッシュメモリのドライブ名になります。確認できたら、[OK]ボタンをクリックします。

5　同様に手順 ***3*** で、[I-O DATA 1394SMDrive]をダブルクリックすると、スマートメディアのドライブ名が確認できます。

使用時のトラブル(Windows 編)

マイコンピュータでリムーバブルディスクアイコンが表示されない

原因 1394-DFRW が接続されていない、または接続が正しくない。

対処 1394-DFRW が接続されていない状態では、マイコンピュータにリムーバブルディスクアイコンは表示されません。接続を確認してください。

原因 1394-DFRW のカバーを開けたままである。

対処 カバーを開けた状態では、パソコン側で本製品が認識できません。カバーを閉めてください。

原因 正しくインストールされていない。

対処 21 ページ「インストール終了後の確認」を行ってください。

リムーバブルディスクアイコンをダブルクリックすると、エラーメッセージが表示される

原因 メディアがセットされていない、または向きを間違えてセットしている。

対処 メディアが正しくセットされていることを確認してください。
メディアの出し入れ方法は 26 ページ「基本的な使い方」を参照してください。

原因 メディアがセットされていないドライブをダブルクリックしている。

対処 1394-DFRW にはコンパクトフラッシュ用とスマートメディア用の 2 つのリムーバブルドライブがあります。ドライブ名の確認方法は 76 ページ「どのリムーバブルディスクが 1394-DFRW なのかが判別できない」を参照してください。

原因 メディアがフォーマットされていない。

対処 メディアをデジタルカメラなどで使用する場合は、デジタルカメラ側でフォーマットしてください。フォーマット方法はデジタルカメラの取扱説明書を参照してください（デジタルカメラでフォーマットしてもパソコン側でアクセスできます）。パソコンのみでご使用の場合は、42 ページ「フォーマットするには」を参照してフォーマットしてください。

スマートメディアにファイルをコピーしようとしたら、「書き込みできません」と表示される

原因 スマートメディアがライトプロテクトされている。

対処 ライトプロテクトシールをはがすか、別のスマートメディアを用意してください。

原因 スマートメディア書き込みに対応していないインターフェイスボードを使用している。

対処 対応インターフェイスボードについては6ページ「スマートメディア書き込みに対する制限事項」を参照してください。
なお、弊社製インターフェイスボード「1394-PCI」、「1394-PCI/DVC」をお使いの場合は、下記の手順で再設定を行うと、書き込みできるようになります。
（下記の手順では、「1394-PCI」および「1394-PCI/DVC」を総称して、1394-PCIと呼んでいます）

■再設定の手順概要■

次の手順にて1394-PCIの再設定を行うことができます。
Step1．1394-PCI再設定プログラム用起動ディスクの作成
Step2．1394-PCI再設定プログラムの実行

■Step1．1394-PCI再設定プログラム用起動ディスクの作成■

お使いのパソコンのOSによって手順が異なりますので必要な箇所をお読みください。

<Windows 98SE の場合>

1. 1.44MBでフォーマット済みの空きフロッピーディスクを1枚準備します。
2. Windows 98SEを起動し、空きフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。
3. フロッピーディスクアイコンを右クリックしてメニューよりフォーマットを選択します。
4. [フォーマットの種類]で「起動専用」を選択して、[開始]ボタンを押します。
5. フォーマットが完了したら、CD-ROMドライブに1394-DFRW サポートソフトをセットします。
6. エクスプローラでCD-ROMドライブのアイコンを開き、1394PCIフォルダを開きます。
7. 1394PCI フォルダの1394RCFG.EXE（1394RCFGと表示されている場合もあります）を選択して右クリックし、[送る]→[3.5インチFD]をクリックします。1394-PCI再設定プログラム（1394RCFG.EXE）がフロッピーディスクへコピーされます。

以上で、1394-PCI 再設定プログラム用起動ディスクの作成は終了です。
下記「Step2. 1394-PCI 再設定プログラムの実行」にお進みください。

<Windows Me の場合

1. 1.44MB でフォーマット済みの空きフロッピーディスクを 1 枚準備します。
2. Windows Me を起動し、空きフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。
3. [コントロールパネル]を開き[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。
4. [起動ディスク]タブをクリックし、[ディスクの作成]ボタンを押します。
5. ディスク挿入の確認のメッセージが表示されますので、ドライブ A にディスクが入っていることを確認して[OK]ボタンを押します。
   「起動ディスク用のファイルを準備しています」の作業進行バー表示が消えると、起動ディスクの作成は完了です。
6. CD-ROM ドライブに 1394-DFRW サポートソフトをセットします。
7. エクスプローラで CD-ROM ドライブのアイコンを開き、1394PCI フォルダを開きます。
8. 1394PCI フォルダの 1394RCFG.EXE（1394RCFG と表示されている場合もあります）を選択して右クリックし、[送る]→[3.5 インチ FD]をクリックします。
   1394-PCI 再設定プログラム（1394RCFG.EXE）がフロッピーディスクへコピーされます。

以上で、1394-PCI 再設定プログラム用起動ディスクの作成は終了です。
下記「Step2. 1394-PCI 再設定プログラムの実行」にお進みください。

■ Step2. 1394-PCI 再設定プログラムの実行■
<Windows Me/98SE 共通の手順になります>

1. パソコン本体の電源を切ります。
2. Step1 で作成した 1394-PCI 再設定プログラム用起動ディスクをフロッピーディスクドライブにセットしてパソコン本体の電源を入れます。
   フロッピーディスクドライブのアクセスランプが光ったらキーボードの「shift」キーをパソコンが起動するまで押し続けます。
3. パソコンがフロッピーディスクより起動し、コマンドプロンプトが表示されますので次の下線部を入力し、<ENTER>キーを押します。
   A:>1394RCFG
4. 1394-PCI 再設定プログラムが起動し下記のように表示されます。
   1394-PCI Parameter Write Program Ver 1.02
   Copyright (C) 2000 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
   I found LSI!!

```
This Board's GUID is 00A0B002xxxxxxxx
This Board's MAX_REC is XXXXX
Are you sure to update the setting of this 1394-PCI ?
OK (ENTER) or NO (ESC)?
```

5. [ENTER]キーを押します。1394-PCI の再設定を開始します。
※注意※
ここで次のように表示されて1394-PCI 再設定プログラムが終了してしまった場合、お使いの1394-PCI はすでに設定が終わっています。これ以上の作業は必要ありません。

```
The setting of this 1394-PCI is already good !!
Exit this program .
```

6. 1394-PCI の再設定が開始され次のメッセージが表示されます。

```
Writing New Parameters (1)                .....
Writing New Parameters (2)                .....
Verifying EEPROM Contents
EEPROM Verify OK!!
The setting of this 1394-PCI is already done !
Please POWER OFF your PC.
```

7. 以上で再設定は正常終了しました。
パソコンの電源を完全に切ってから、パソコンを起動してください。

■再設定プログラム実行時のエラーについて■

※1394-PCI ボードが見つからない場合のメッセージ

```
"Can't find LSI!!"
"EXIT Program...."
```

<確認事項>
EMM386.EXE が組み込まれた環境においては上記のメッセージが表示される場合があります。正しい手順にてプログラムを起動したか確認してください。
また、ボードがきちんと装着されていない場合があります。ボードのさし直し、またはスロットを変えてみてください。

※ID が不正な場合のメッセージ

```
"This Board's GUID is xxxxxxxxxxxxxxxx"
--ERROR--ERROR--ERROR--ERROR--ERROR--ERROR--ERROR-- "
" The GUID XXXXXXXX is Invalid !! "
" The GUID of this board is not 1394-PCI. "
" Exit this program ."
" --ERROR--ERROR--ERROR--ERROR--ERROR--ERROR--ERROR-- "
```

<確認事項>
1394-PCI 以外の 1394 インターフェースボードを装着している場合などに表示されます。1394-PCI 以外のボードに対しては本プログラムは実行できません。

※EEPROM の設定が失敗(Verify Error)の場合のメッセージ
"EEPROM Test Fail!! Address <XXX> = xxx"
<確認事項>
1394-PCI のパラメータ変更に失敗した場合に表示されます。正しい手順にてプログラムを起動したか確認してください。
他の PCI ボードなど拡張ボードを増設している場合は、取り外してから再度プログラムを実行してください。

デジタルカメラの画像取り込みで、画像が取り込めない

原因 取り込み時に指定するドライブまたはフォルダが間違っている。

対処 メディアを挿入したリムーバブルディスクが選択されているか確認してください。また、画像はそのメディアの中の特定フォルダに保存されている場合があります。デジタルカメラの取扱説明書で確認してください。

原因 挿入したメディアが違っている。

対処 画像が撮影されたメディアかどうか確認してください。

デジタルカメラでメディアに画像が保存できなくなった

原因 パソコン側でメディアをフォーマットした、または必要なフォルダやファイルを削除してしまった。

対処 デジタルカメラ側でもう１度フォーマットしてください。（メディアに保存されている内容はすべて消去されます。必要であれば、バックアップを取ってからフォーマットしてください。）フォーマット方法はデジタルカメラの取扱説明書を参照してください

リムーバブルディスクから音声ファイルを再生すると、音飛びが起こる

対処 音声ファイルをパソコン本体のハードディスクにコピーして、パソコン本体から再生してください。

接続から動作確認まで（Mac OS 編）

接続ケーブルの IEEE 1394 コネクタがパソコンの FireWire ポートに入らない

原因 接続ケーブルの IEEE 1394 コネクタの向きが正しくない。

対処 コネクタの向きを変えてもう 1 度差し込んでください。向きが一致していれば、コネクタを差し込むのに力は必要ありません。

原因 パソコン側の FireWire ポートが 4 ピンタイプである。

対処 本製品添付の接続ケーブルは 6 ピンタイプ用のものです。パソコン側の FireWire ポートが 4 ピンタイプの場合は、別途、6 ピン⇔4 ピン接続ケーブルをパソコン販売店などでお買い求めください。なお、その場合は AC アダプタも必要になります（7 ページ「別売の AC アダプタについて」参照）。
6 ピン⇔4 ピンケーブルの接続方法については 55 ページ「パソコン側のポートが 4 ピンの場合」を参照してください。

「必要なソフトウェアが見つかりません」と表示された

原因 正しくインストールされていない。

対処 1394-DFRW を取り外します。
50 ページ「サポートソフトのインストール」を参照して、インストールをやり直してください。インストール終了後、パソコンを再起動します。
その後、1394-DFRW を再度接続してみてください。

原因 デバイス認識されていない（パソコン本体以外の FireWire ポートに接続した場合）。

対処 以下の方法を試してみてください。

- IEEE 1394 コネクタを抜いて、接続し直す。
- 別の FireWire ポートに接続してみる。

それでも同じ現象の場合は、パソコン本体の FireWire ポートに直接接続してください。

使用時のトラブル（Mac OS 編）

ドライブアイコンがマウントされない

原因 メディアがセットされていない、または向きを間違えてセットしている。

対処 1394-DFRW にメディアを正しくセットしないと、ドライブアイコンはマウントされません。メディアが正しくセットされていることを確認してください。
メディアの出し入れ方法は59 ページ「基本的な使い方」を参照してください。

原因 1394-DFRW のカバーを開けたままである。

対処 カバーを開けた状態では、パソコン側で本製品が認識できません。カバーを閉めてください。

原因 正しくインストールされていない。

対処 1394-DFRW を取り外します。
59 ページ「サポートソフトのインストール」を参照して、インストールをやり直してください。インストール終了後、パソコンを再起動します。
その後、1394-DFRW を再度接続してみてください。

原因 デバイス認識されていない（パソコン本体以外の FireWire ポートに接続した場合）。

対処 以下の方法を試してみてください。

- IEEE 1394 コネクタを抜いて、接続し直す。
- 別の FireWire ポートに接続してみる。

それでも同じ現象の場合は、パソコン本体の FireWire ポートに直接接続してください。

ハードウェア仕様

型式番号	1394-DFRW
インターフェイス	IEEE 1394　6ピンタイプ×１個 （IEEE 1394-1995,IEEE 1394a-2000準拠）
対応メディア	コンパクトフラッシュ（CFA準拠のもの） スマートメディア（3.3V/4,8,16,32,64,128MB） IBM製マイクロドライブ
スロット	コンパクトフラッシュ（TypeⅡ）用スロット×１個 スマートメディア用スロット×１個
その他のコネクタ	ACアダプタ用コネクタ×１個
LED	READYランプ×１個 ACCESSランプ×２個 （コンパクトフラッシュおよび スマートメディア用各１個）
適合規格	VCCI第2種
電源電圧	6～40V（バスパワー供給時） 5V（ACアダプタ使用時）
消費電流 （最大）	600mA/6V（3.6W バスパワー供給時） 700mA/5V（3.5W ACアダプタ使用時）
動作環境	0～40℃/20～80%（結露しないこと）
保存環境	-20～60℃/20～80%（結露しないこと）
外形寸法	84.0(W)×113.5(L)×28.5(H)mm
添付ケーブル長	約100cm
質量	約120g （ケーブル含まず）

用語解説

IEEE 1394（アイトリプルイー　イチサンキュウヨン）
(IEEE = Institute of Electrical and Electronics Engineers)

パソコン周辺機器の高速データ転送用の技術として Apple 社で開発が始まり、IEEE（米国電気電子技術者協会）により正式規格として制定された規格。その規格番号から一般的に IEEE 1394 と呼ばれているが、Mac OS では「FireWire」（ファイヤワイヤ）と呼んでいる。SONY がデジタルビデオカメラのインターフェイスとして採用したことで家電業界を中心に普及が進んでいる。
6 ピンタイプと４ピンタイプのコネクタがあり､6 ピンタイプは電源がバスパワー供給されるようになっている。

i.LINK（アイリンク）

IEEE1394-1995 仕様およびその拡張仕様の名称として SONY が提唱している呼称。

コンパクトフラッシュ *(Compact Flash)*

フラッシュメモリを記憶媒体としたコンパクトフラッシュは、電源を切っても内容が消えない（不揮発性）し、電気的な消去も可能なことから、ハードディスクのような記憶媒体として利用されている。
コンパクトフラッシュメモリは、1994 年 11 月に発売された。マッチ箱ほどのサイズで PCMCIA ATA 互換、デジタルカメラ、ハンドヘルドパソコン、オーディオレコーダなどに使用されている。アダプタを購入することで、PC カードで読み込むこともできる。

スマートメディア *(Smart Media)*

東芝が開発したフラッシュメモリの商品名。フロッピーディスクの１/４ほどの大きさで、超薄型のカード。デジタルスチルカメラの記憶媒体として使われている。アダプタを購入することで、PC カードで読み込むこともできる。ID 付きもある。

リムーバブルディスク（ドライブ）　*(Removable Disk Drive)*

着脱可能な記憶媒体のディスクドライブをさす。MO、Zip、PD などが代表。ハードディスクと同じようにファイル操作が可能である。

サポートセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及び FAX 番号
2. ご使用の弊社製品名、サポートソフトのバージョン番号
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番
4. ご使用の OS とアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.co.jp/support/
「サポートセンターお問い合わせ」内のフォームを
使用して、E-mail をお送りください。

@nifty　アイ・オー・データステーション（IODATA）　サポート会議室

■郵便

〒920-8513　石川県金沢市桜田町２丁目８４番地　アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「1394-DFRW」係　宛

■電話

電話番号　金沢　076-260-3661
東京　03-3254-1085

受付時間　9:30～19:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

■FAX

FAX 番号　金沢　076-260-3360
東京　03-3254-9055

宛先　株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「1394-DFRW」係　宛

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

サポートソフトウェアのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。なお、当サービスはユーザー登録された方のみが対象です。

■オンライン

インターネット	http://www.iodata.co.jp/ →「サポートライブラリ」
@nifty	ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ (SIODATA) ライブラリ

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。(送料及び手数料はお客様負担)

〒920-8513 石川県金沢市桜田町２丁目８４番地 ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「1394-DFRW」サービス窓口 宛

電話番号 076-260-3663
受付時間 9:30～12:00 13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

■ご注意

オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。

保証について

■保証期間

保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有料修理となります。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。
弊社が販売中止を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

- 本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。
- 本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
- 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送りくださいます様、お願い致します。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  また、修理品のデータにつきましては、故障症状確認の際にすべて消去されます。
- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。
- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、
  　落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合
- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。
- 修理品送付先

住所　　〒920-8513
石川県金沢市桜田町２丁目８４番地　　アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「1394-DFRW」 修理係　　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

- 修理品納期問い合わせ窓口

受付窓口　「1394-DFRW」 サービス窓口
電話番号　金沢　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、上記までお問い合わせください。